



八代中学



八代高女



八代高校

八高同窓会会報 第9号

道

5/13
八代高校
VS
早稲田実業

- 感動をありがとう
躍進する野球部
- 同窓会長・学校長挨拶
- 平成29年度 大同窓会報告
- 各支部・地区同窓会紹介
- 学年同窓会だより
- 母校だより
- 八代だより
- 八高座談会2017
「われら青春!
熱血八高、学園ドラマ編」
- 次回総会のご案内

熊本県立八代高等学校同窓会

平成29年11月30日発行

一八年ぶりの春決勝進出

三七年ぶりの夏ベスト4

感動をありがとう 躍進する野球部

春の大会準優勝

第一四〇回九州地区
高校野球 熊本大会

早稲田実業と対戦

RKK旗選抜高校野球大会
招待野球に出場

本校野球部は、三回戦にて第一シード東海大星翔高校を破った勢いに乗って、決勝まで進出、文徳高校と三七年ぶりの優勝をかけて対戦しました。

試合は2点を追う四回表、福田のタイムリー一塁打で逆転したものの、文徳高校の粘り強い攻撃に逆転を許し、惜しくも準優勝でした。しかし、熊本市内勢を倒しての決勝進出は意味あるもので、RKK旗選抜高校野球大会への出場を決めました。

文徳	八代
1	0
0	0
1	0
1	3
1	0
0	0
1	0
0	0
X	0
5	3

決勝

準決勝 八代 6ー2 専大玉名
(5回コールド)

準々決勝 八代 12ー1 済々黌
(5回コールド)

三回戦 八代 3ー2 東海大
(7回コールド)

二回戦 八代 9ー1 熊本
(7回コールド)

一回戦 八代 9ー5 開新



正成くんの力投

試合後の握手



春の大会準優勝で、RKK旗選抜高校野球大会に出場した本校は、緒戦で球磨工業高校に勝利。準決勝は、三期連続甲子園ベスト四の秀岳館高校と対戦しました。敗戦したものの、高校日本代表主将の清宮君率いる早稲田実業学校と招待試合で対戦することになりました。

早実との対戦では、初回から、清宮君のホームランなど猛攻を浴びますが、三回には代わった正成君が一四〇キロのストレートで清宮君から三振を奪い、流れを徐々につかむと、六回、七

回に四点ずつ奪い早稲田実業を追い詰めました。時間切れで敗戦となりましたが、全国トップレベルのチームを肌で感じ取る実りの多い試合でした。

八代	早実
0	4
2	6
0	0
0	0
0	4
4	2
4	0
10	16

夏の大会ベスト4

第九九回全国高等学校
野球選手権 熊本大会

第五シードで迎えた今大会は、城南大会や練習試合で敗戦している宇土高校が緒戦の大きな山場となりました。三回までに二点を追う苦しい展開でしたが、打線が爆発。打者一巡の猛攻を見せ、一挙七得点を奪い逆転。そのまま順調に加点して見事に逆転勝ちしました。



エース緒方空澄の熱投！

次の山場は、三回戦、春も対戦した済々黌戦でした。三回に三番江中のタイムリー一塁打で先制すると、順調に五点を奪い、守っては一失点とシード校らし

い試合運びで、ベスト8に進出しました。

準々決勝は、三回戦で第二シード熊本工業を倒した菊池高校との対戦でした。二回表に先制されるも、すぐに吉川君の適時打で同点に迫いつき、投手戦の様相を見せました。六回裏、相手投手の疲れにつけ込み、四番松本、八番緒方空澄、一番正成の三本の二塁打を絡めて一挙七点を奪い勝利、昭和五五年以来の準決勝進出となりました。



済々黌に勝ち、藤崎台で校歌を歌う

準決勝の相手は、RKK旗で敗退した秀岳館高校でした。日曜日ということもあり、三塁側スタンドは、多くの生徒や同窓生で埋まり、三七年ぶりの決勝進出をかける生徒の一挙手一投足に拍手を送ってもらいました。試合は、秀岳館高校の前に力の

試合前の指示を受ける

側スタンドは、多くの生徒や同窓生で埋まり、三七年ぶりの決勝進出をかける生徒の一挙手一投足に拍手を送ってもらいました。試合は、秀岳館高校の前に力の



多くの同窓生で埋まったスタンド



在校生も多数応援!!

秀岳館	八代
2	0
1	0
0	0
0	0
0	0
1	0
1	0
2	0
7	0

準決勝

一回戦 八代 12ー3 宇土
(7回コールド)

二回戦 八代 12ー1 鹿本農業
(5回コールド)

三回戦 八代 5ー1 済々黌

準々決勝 八代 8ー1 菊池
(7回コールド)

差を痛感することになりましたが、試合後の観客からの温かい拍手は、生徒のこれまでの頑張りを象徴するものでした。

《表紙の説明》
「RKK旗選抜高校野球大会」に出場した際、早実の強打者・清宮くんに対して八高投手・緒方くんが投球する場面。

就任のご挨拶



八高同窓会 会長 村山 忍

8月27日の総会に於いて岡山会長の後を受け会長に就任しました。同窓生の皆様のご支援を頂きながら与えられた職責を全うする所存です。

引き継ぎに際し、前会長より取り組むべき2つのテーマを宿題としてもらっております。1つは財務状況の改善です。毎年単年度については赤字決算で、繰越金の減少に歯止めがかかりません。年会費の納入率を向上させる事が喫緊の課題です。2つ目は若い同窓生に関心をもつて同窓会へ参画してもらい、この事

についての取り組みです。

同窓会報「道」の編集も常にこれらの事を念頭に置き、特に「学年だより」「地区だより」を中心に幅広い学年に喜んでいただく様を考えていかねばなりません。

そして出来上った会報が同窓生の皆さんに確実に届く様、学年同窓会と同窓会事務局との「コミュニケーション」を密にして、同窓生の住所の把握に努めたいと思っております。

具体的には各学年毎の住所判明率などを公表し、意識の向上を計っていく事を検討します。

同窓会報は今回で9号となりまします。全国同窓生を結び絆としての役割も益々重要となっております。ホームページの拡充と共に更に力を込め取り組んでまいります。同窓生各位のご協力をよろしくお願い致します。

八年間、ご協力ありがとうございました



八高同窓会 前会長 岡山 元紀

浜までは海女も暮らした時雨かな

滝 瓢水

平成21年8月、徳永三幸氏の後を継いで同窓会会長になりました。私には見えませんでした。

毎年8月に八代中学・八代高女・八代高校同窓会が開催されます。

8年前、この八代以外の地において同窓会が開催されていたのは、関東地区同窓会、関西同窓会、福岡支部そして、熊本市支部の

4カ所だけで、また同窓会報はまだ発行されておりませんでした。

従って、八代高校同窓会は、全国におられる同窓生のほんの一部だけを対象とした限られた活動しか行っており、同窓生の結びつきを図る趣旨からは極めて不満足な状況にありました。平成21年12月に同窓会報「道」を創刊しました。

これを契機として岡山県、広島県、山口県、大分県、長崎県、鹿児島県に同窓会が設立され、さらに、名古屋に東海同窓会ができた結果、地区同窓会は11カ所を数え、本部の八代を入れて12カ所となり、同窓生の90%をカバーできるようになりました。

しかし、同窓会の活動が広がる

につれて、当然、財政面の負担が大きくなり、各地の同窓会に出席した時には、いつも年会費納入のお願いをしてありました。

関東地区同窓会、関西同窓会、広島県同窓会に出席しました折に、会場で同窓生の方が来られて、八代高校同窓会に財政支援をしたいと申し出がありました。時は、ありがたくうれしくて涙が出る思いでした。

この8年間、同窓会副会長6名の方々、同窓会事務局の2人、同窓会理事及び監査委員の方々、各地区同窓会の役員の皆さん、そして、全国23,000名の同窓生のご協力・ご支援があつて、無事に会長の務めを果たすことが出来ました。

心より御礼を申し上げます。あらがとうございました。

ご挨拶



八代高等学校 八代中学校 校長 山本 朝昭

同窓会の皆様方には、平素より多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本校着任以来、今年で3年目を迎えますが、グローバル化した激動の時代を生き

抜く人材の育成に力を入れていきます。本校綱領に謳われた資質を磨くことが、取りも直さず、グローバルな視野の育成に繋がると確信し、教育活動を展開しているところです。

その成果の顕在化を、今回、本誌「道」で3ページに亘り、活動実績として掲載させていただきました。何故生徒達がこんな活動をしているのかを御理解頂くため、本校が進める教育活動の概要を簡潔に紹介いたします。

本校は、グローバル人材に必要な

オーストラリア研修等」

「母校だより」のページに紹介しています。これらのプログラムの成果物であり、実に多くの生徒が食いつき良く、高いポテンシャルを発揮しています。特に③の自己研鑽活動では、昨年、一昨年も延べ1,200名以上の生徒が参加し、多くの生徒が全国の大会で活躍しています。その結果として、視野が拡大し、全国というフィールドを身近に感じるなか、総じて、目標が高くなり、ハードルが上がり、やれる自信が付いて、全

国のレベルで切磋琢磨を望む生徒が増加しています。進路面では、第一志望に拘り貫徹する生徒が増加。東京大学の合格者3名。野球部の夏の大会ベスト4や高校総体団体ベスト8に6種目で進出するなど、これらは、互いに正の連鎖を起こした結果ではないかと考えています。

本校が進める教育活動を円滑に進めるために同窓会の教育支援に負うところは大変大きく、今後とも御理解と御支援のほど、よろしくお願い致します。

総会・記念講演会



熊本地震からの復興…
その現状と課題

講師 熊本大学大学院 先端科学研究部
教授 柿本 竜治 氏

八代中学・八代高女・八代高校

平成29年度 同窓会総会

平成29年度の八代中学・八代高女・八代高校同窓会が、8月26日に全国の同窓会支部からの参加者も含めた533人もの皆様に「ご出席いただき、八代ホワイトパレスで盛大に開催されました。

今回のテーマは「絆(ゆるぎない繋がりが)未来への第1歩」。熊本地震で地域のつながりや絆の大切さを改めて認識し、ふるさと八代の未来への熱き思いや八代の元気づくりのために何ができるかを存分に語り合った同窓会となりました。

総会

午後1時30分、
物故者への黙祷
の後、菅嶋義邦副
会長による開会

で始まりました。岡山元記同窓会長、山本朝昭名誉会長(八代高校・八代中学校長)の挨拶と続き、来賓挨拶は代表して5人の皆さん、勝井梅子関東地区同窓会長、吉田高範岡山同窓会長、谷崎續広島県同窓会長、辻本章福岡支部会長、中西雄一熊本市支部会長に賜りました。
引き続き、岡山会長を議長として議事を進行し、村山忍さん(高14回生)の新会長への就任など今年度の役員体制、昨年度行事報告、会計決算報告、監査報告、今年度行事予定、予算案及び会則改正が承認され、そのほか年会費納入、花馬奉納会、同窓会報についての報告が行われ、閉会しました。

記念講演会

総会後の午後
3時30分から、熊
本大学大学院先
端科学研究部教

授の柿本竜治さん(高35回生)を迎えて、「熊本地震からの復興…その現状と課題」を演題にご講演いただきました。
柿本さんは、今年4月、「く



柿本竜治さんによる講演

まもと水循環・減災研究教育センター」のセンター長にも就任され、自然災害からの復興などについて造詣が深く、講演では、沢山のスライドを使って、熊本地震の被害の概要と益城町の復興計画についての話があり、今回の地震からの教訓として、市民としては発災後72時間を耐える自助・共助の強化が、行政としては緊急時の本部機能の強化、電力・水道などインフラの強靱化、防災拠点での非構造物の耐震化等が必要であることなどについて提言がなされました。
講演には100人を超える参加者が詰めかけて熱心に耳を傾け、講話後は活発な質疑がなされ、熊本地震からの復興に向けた取組みについて改めて認識を深めることができた有意義な講演会でした。



再会を祝して、かんぱ〜い！



高女 42 回生（澤本潤子さん、福岡テルヨさん、益田八重さん、松本照子さん）



八高同窓会飾馬奉納会から記念品の受贈



「ヒロ・アイランダーズ」による演奏



今年はちょっと変わって5本締めでお開きでした



来年の幹事（高 36 回生）は任せたぞ！



さあ、やっと飲めるぞ！

妙見締めで締めくくりに、還暦同窓会での再会を約束しました。

最後は、福本圭三さんによる

会場では、大役を果たした後のおいしいビールを片手に、久しぶりに会う仲間たちと学生時代に限り、旧交を温める輪がいくつもできていました。

幹事の皆さん、お疲れさまでした

合せはしてきたものの、不安でいっぱいでしたが、各地から集まってくれた多くの仲間たちが、駐車場整理や受付、会場運営に協力してくれ、大同窓会を無事終えることができました。



昨年からの臨時集まつて準備や打

幹事学年 (高校第 35 回) 同窓会

懇親会にご参加いただいた皆さんのお見送りを終えた後、幹

懇親会

懇親会のオープニングは、結成から 60 年以上経過した現在も、市

内、県内はもとより県外各地の音楽フェスにも参加し、活動を続けている八高OBを中心としたバンド「ヒロ・アイランダーズ」が、ハワイアンやラテン音楽などを披露し、会場全体がまるで南国に居るかのような雰囲気包まれ、夏の夜の楽しいひとときの始まりを演出しました。

実行委員長の小野高信さん（高 35 回生）の挨拶に始まり、岡山会長のご挨拶並びに今年度



永年お疲れさまでした！

と披露されるなど宴も最高潮に達しました。

終盤には、来年度の幹事学年である高校 36 回生へ法被の引継ぎをし、代表の濱田浩介さんによる力強い決意表明がありました。そして、八代高校校歌「道」を会場全体で斉唱し、山口弘雄さん（高 47 回生）の音頭のもと、たたく指を一本ずつ増やしてい

くら本締めでお開きとなり、来年の再会を誓いました。

関東地区同窓会

私たち関東地区同窓会は、関東1都6県とその近隣の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。

会員はおよそ2千4百名で、学年幹事を開催して運営しております。

活動は「総会・祝宴」「倶楽部活動」等を行っており、ホームページ、facebook等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図っております。

総会・祝宴について

今年は9月2日(土)に上野精養軒で行いました。朝からあいにくの空模様でしたが受付開始ごろには雨も止んで、無事開催となりました。会はおよそ240名の皆様にご参加いただき、「第一部：総会」「第二部：祝宴」「第三部：引継ぎ・閉会」の三部構成で盛大に行いました。

●総会

総会は、開会宣言のあと黙とうを行い物故者の皆さま方のご冥福をお祈りして、関東地区同窓会の勝井会長、八代の本校同窓会の村山会長、県立八代高校・中学の山本校長にご挨拶をいただきました。昨年同窓会にご寄付をいただいた方への感謝の意を表し、昨年度会計の報告を行



勝井会長



村山会長



山本校長



い、会員の皆様の承認をいただきました。

総会の最後には「くまモン」が登場、あいさつの後、くまモン体操を披露していただき、祝宴に移りました。



くまモン

●祝宴

祝宴は、今年から還暦を迎える世代の会員が乾杯の発声を行う事になり、28回卒の有田副会長の発声で開始となりました。

「ハヤシライス」

歓談は、ビール、ワインなどをいただきながら、ご来賓の滝本先生(数学)、串山先生(生物)の先生方も交えて昔話や八代の



歓談



八代音頭盆踊り

料理、特に上野精養軒名物のハヤシライスは大好評でした。祝宴のアトラクションは「八代音頭盆踊り」で、当番幹事の皆さんが八代からそろいの浴衣をお借りして、会場はさながら球磨川祭りの会場でした。八代音頭を初めて聞いた方も多かったようですが、故郷を想えるこの企画は全体がほんわかとした雰囲気になり、大好評でした。

「八代音頭」

また、会場の上野精養軒や有志の皆様から頂いた景品を、全員参加のじゃんけん大会で配布、これまた盛り上がりました。

●引継ぎ閉会

歓談、アトラクションのあとは、今年の当番幹事及び来年の幹事の紹介と挨拶。続いて20回卒の岡さんの指揮で校歌斉唱。八代中学、高女、高校の校歌を



校歌斉唱



上野精養軒

皆で歌って、またまた大いに盛り上がりました。

最後に49回卒の小早川さんと50回卒の西田さんによる万歳三唱で締め、また来年、上野精養軒での再会を誓いお開きとなりました。



倶楽部活動

会員の有志の皆さんで適当に集まって、ゴルフや各種観戦・鑑賞会、飲み会などでワイワイやっています。

「ゴルフ」

八高関東地区同窓会ゴルフコンペが5月と11月の2回開催されました。毎回10、20名ほどの皆さんが参加されており、和気あいあいと



楽しんでます。

コンペ開催はfacebook等でお知らせしますので、お気軽にお申し込みください。

「各種観戦・鑑賞会、飲み会」

思い立った人がメールやfacebookで呼びかけて、あちこちの展示会、花見やスポーツ観戦などに行つて、帰りに居酒屋さんでやちろ弁トクなどを楽しんでおります。

飲み食いする場所は山ほどありますので、関東地区以外からお越しの際には、同級生などにぜひお声がけください。

通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東」と混むは、総会の案内、写真のダウンロード、各種報告事項などを掲載しておりますので「http://www.85kantou.com」にアクセスしてご覧ください。

また、各種活動のお知らせや写真などはfacebook「https://www.facebook.com/85kantou」に随時掲載しております。

なお、関東地区の総会・祝宴や倶楽部活動は関東地区以外の方もご参加いただけます。情報等はホームページやfacebookをご覧いただき、ご希望がございましたら各学年幹事にお問合せください。

私たちの関西同窓会

第26回 総会・懇親会 (平成29年 6月3日)

八高関西同窓会に参加して

土屋 昂 (高16回卒)

同窓会って、自分にとつて何なんだろうと思うことがあります。別、別に、実利的に有効なものでもないし、絶対に出席すべき義務のものでもない。もっと



ほんわかとした、あたたかい存在のものとしたいと思います。何か、仲間と交流したい

との欲求は人間の本性に通ずるもので、緩やかなルールのもと、先輩、同期、後輩と語り合つて、それを体感して、ほつこりとした気持ちのよさを感じる場ではないでしょうか。私は、いつも景品係を担当していますが、そうした携わりをすれば、よいいに、色濃く、会の雰囲気味わうことになると思います。今後とも、ささやかな貢献をしながら、より暖かな、楽しい八高関西同窓会となりますよう願っております。



思い出多き八代・八高

山下 宏文 (高24回卒)

今から3年前、還暦を迎えて初めて参加した関西同窓会は、40数年前の高校時代の思い出を彷彿とさせるものでした。

そんな同窓会に参加の機会を得る中、平成27年の26回卒に続き、翌年も創立120周年を記念したスライドショーということになり、24回卒が幹事の年でもあり前年のスライドをベースに制作に携わりました。学校創



立以来の数々の写真や写真の取材に訪れた五家荘や日奈久(西南戦争時の政府軍の上陸碑)等の写真を整理して、改めて、改め

て八高の歴史の偉大さと八代という地域の歴史的な価値を再認識させられるいい機会となりました。



参加4年目ですが、同期・後輩の勧誘も含め微力ながら同窓会に積極的に関わつていこうと思つています。

世代を越えて繋がる

田島 聡美 (高40回卒)

関西に住み始めて24年。これまで関西同窓会に参加する機会に恵まれず、今回初めて参加となりました。ドキドキしながら一人会場入りしたのですが、八代弁で話をされる親しみやすい先輩方のお陰ですぐに皆さんの輪に打ち解けることができました。講演で



は、44回卒の遠山大輔弁護士による「裁判員裁判が果たした役割と展望」、懇親会で



は、楽しい会話と八高校歌の斉唱、そしてスクリーンで八高の歴史を振り返り、自分の高校時代を懐かしく思い出すと共に、世代は違えども同じ学び舎で過ごした卒業生がこのように繋がるのを感じ深く思いました。今回参加して、若い方々の参加が少ないことに責任を感じました。八高のネットワークを受け継いでいけるよう、私も微力ながらお手伝いして行きたいと思つています。



お知らせ

来年の第27回八高関西同窓会総会・懇親会は平成30年6月2日(土)開催予定です。

佐藤好助会長



岡山元紀会長



城本信佐副校長



平成29年7月1日は山笠初日で、これから2週間博多の街は山笠一色となり街に活気がみなぎります。

時を同じく八代高校同窓会福岡支部総会が、故郷八代から岡山元紀八高同窓会長、城本信佐副校長、本村勸治同窓会事務局長を来賓としてお招きし開催されました。出席者は86名、県外からの出席も多数ありました。たった一人で出席した昨年の同窓会で次回の当番幹事をお願いされ、はてさて50年卒を何人集められるのか心配ではありましたが、ありがたいことに10名の当番幹事が集まってくれました。当日の会の流れも、皆の協力のおかげでもスムーズに運ぶことができました。



新執行部 辻本章 新会長、古川晶子副会長、伊佐学 副会長



佐藤好助会長 長い間 ありがとうございます

今年は役員改選があり、同窓会福岡支部会長が佐藤好助氏から辻本章氏に交代されました。

佐藤さん長い間どうもありがとうございました。うございました。

宴は進み、皆さんの顔もと

ても和やかで、会場のあちこちで昔話に花が咲いていました。

バンド演奏あり、お楽しみ抽選会あり、それからサプライズで

最高齢者、大江田昌子様(90

歳) 宮本ハツヨ様(87歳) 高女

卒業のお二人に最年少の平成7

年卒杉本博年さんより花束贈呈などもあり、と盛りだくさんの内容でした。



皆で校歌斉唱



最高齢者、大江田昌子様(右) 宮本ハツヨ様(左)



懇親の模様



イベント ブルーグラスバンドのリバティ

と願いつつ同窓会、無事に幕を下ろすことが出来ました。

平成29年度同窓会当番幹事

中村文代



八代妙見祭の亀蛇と笠鉦が福岡の町を巡行!

九州の祭り"山・鉦・屋台特別巡行"~祭りの歴史上・初めて!!~

今回ユネスコ無形文化遺産に登録された九州五つの祭りがここ福岡に集合!"祭 WITH THE KYUSHU" 5月13日(土)~5月14日(日)

これまで地域で永く大切に受け継がれてきた九州を代表する5つの祭りが、福岡市役所周辺を舞台に特別巡行しました!



『博多祇園山笠行事』・『戸畑祇園大山笠行事』・『唐津くちの曳山行事』・『日田祇園の曳山行事』・『八代妙見祭の神幸行事、笠鉦「菊慈童きくじどう」、笠鉦「蜜柑みかん」、「亀蛇がめ」』。

昨年4月に発生した熊本地震への復興支援に対する謝意と11月23日に開催される神幸行事への訪問を呼びかける八代妙見祭保存振興会の皆さん。

八代妙見祭の出し物が登場すると、笠鉦の手の込んだ細工や豪華な飾りなどに魅了される声やユーモラスな亀蛇の動きに驚きの歓声があがっていました。「数十年ぶりに本物を見た」などの感動の声も聞こえました。

まさかこのような形で福岡で亀蛇や笠鉦が見られるとは思ってもいませんでした。

さあ来年の福岡同窓会は**7月7日(土)**です。たくさんの方のご出席をお待ちしています。

●福岡支部の最新情報は「八代高校同窓会福岡支部」のホームページをご覧ください。
<http://hachikoufukuoka.exblog.jp/>

八代高校同窓会福岡支部 ☐ 検 索

熊本市支部だより

私がこのたよりを書いているときは、気温30度を超えていて、まだ暑い日が続いている。今年は、沖縄から北海道まで、気温が30度を超えて、どこもあり変わらない気候であった。初めてではないか。熊本県の気温が全国一になったことも過去に記憶がない。福岡朝倉、大分日田に洪水があり、21万㎡の流木が濁流に流され、それがダムとなり被害がでた。台風3号が熊本に被害をもたらし、台風5号も九州をかすめた。熊本地震から1年半たち、ようやく復興にむけて進んでいるが、自然の力が立ちほだかる。しかしいやなことばかりではない。なんと八代高校野球部が37年ぶりのベスト4である。第99回高校野球熊本県大会では、熊本市支部の多くの同窓生も県営藤崎台球場で応援した。残念ながら試合には負けたが、野球もがんばり、応援も負けていなかった。また、来年のがんばりを期待する。



野球応援 八高がんばれ！

昭和50年卒業（第27回）の熊本中央信用金庫理事長の沼田雄一さんが被災地である熊本及び東北3県の米を使用した日本酒を醸造し、販売する城南信用金庫（東京都）の「興こし酒プロジェクト」に賛同・協力している。社会貢献を目的としたビジネスフェアに毎年参加して、被災地の応援に取り組んでいる。熊本の「ひとめぼれ」を調達、紹介し、4月に福島県会津の酒蔵で行われた仕込み作業にも参加し、被災地の想いをお酒に託した。熊本と東北3県の米をブレンドし、復興創生への願いや、これまでの支援に対する感謝の気持ちを含め、明るい未来へ進む絆の結晶として、興こし酒「絆結（きゆく）」が誕生した。日本酒らしく「きゆく」とやって杯を交わしながら、明るく元気な日本の未来について思いを馳せていただけたらと思います。ご紹介しておきます。



一番左が沼田雄一さん、中央は熊本県知事

さて、熊本市支部は、昨年の総会で役員が変わりました。会長昭和43年卒業（第20回）中西雄一さん、副会長昭和43年卒業（第20回）小堀鈴代さん、副会長昭和48年卒業（第25回）福田誠也さん、副会長昭和49年卒業（第26回）中村克幸さん、そして事務局長は昭和47年卒業（第24回）坂田雅孝です。この体制で4年間運営していきます。よろしく願います。熊本市支部の同窓会は2年に1回です。したがって、来年の開催になります。幹事の皆さんは昭和50年卒業（第27回）と昭和51年卒業（第28回）の皆さんです。今年は、準備期間です。今年年末から本格的な準備にかかると思います。幹事の皆さんは大変とは思いますがよろしく願います。また、同窓生皆さんの参加をお待ちしております。ご協力願います。事務局 坂田雅孝（高24回卒）

岡山同窓会

6月4日、12回目の同窓会総会・懇親会を開催しました。

本部から
岡山会長・
本村事務局
長や八代中
学の田中副
校長の他、
愛知・三重・



山口・広島・香川県からも卒業生にお集まりいただき、大変賑やかな同窓会になりました。写真は集合写真や懇親会、アトラクションでのギターとハー



モニカ演奏、そして、校歌斉唱の様子です。

岡山では毎年、卒業生の主宰する行事が開催されております。

5回卒 本田大三郎氏の「岡山城・後楽園力又ー駅伝」、10回卒 田原弘徳氏が館長を務める武蔵武道館での「小中学生剣道大会や高校生剣道大会」、20回卒 江島幹雄氏が監督・指揮を務める「倉敷アカデミーアン



サンプルやアンサンブル早島の定期演奏会」などです。岡山の有志で応援に行ったり鑑賞に行ったりしております。関心のあられる方は岡山をお訪ねください。

広島県同窓会

去る9月18日、広島カープがセ・リーグ二連覇を達成し、広島は、歓喜の秋を迎えています。これから、クライマックス・シリーズそして、昨年惜しくも逃した日本シリーズ優勝に向け、広島はこれからますます熱気が高まってくると思います。私たちは、この会報が皆様のお手元に届く頃には、カープが良い知らせをもたらしてくれることを願っています。

さて、広島県同窓会は、9月2日に総会・懇親会を開催しました。同窓会本部からは本村新副会長、岡山県同窓会からは吉田会長にご出席いただきました。総会では、平成24年の設立以来5年間にわたり会長を務めていただきました谷崎会長（高13）から、片山新会長（高19）にバトンが引き継がれました。なお、谷崎様には、名誉会長として引き続き、当同窓会の維持・発展に向けて、アドバイス等をいただくことをお願いし、快諾をいただきました。

また、片山会長の就任により空席となった副会長職には、福島信夫（高28）さんにご就任い

いただきました。

懇親会では、新たな取組として、広島県内の大学に在学中の熊本県出身者から、お話を聞かせていただく時間を設けました。第1回目となる今回は、広島大学教育学部3年生の渡邊サチ様に、「剣道が教えてくれたこと」をテーマに、お話をいただきました。

渡邊さんは、熊本県立阿蘇中央高校のご出身です。インターハイの剣道女子個人の部で優勝をされたという素晴らしい経歴をお持ちですが、実は高校時代の剣道の恩師が、八代高校のご出身で、谷崎名誉会長の同級生というご縁があり、今回同窓会にご出席いただいたという経緯があります。

渡邊さんは広島大学でも剣道を続けながら、教師をめざして教育実習にも取り組んでおられます。そのように多忙な中、今回の依頼を快く引き受けていただきました。

お話の内容も興味深いもので、出席者から質問も出るなど、大変良い時間を過ごすことができました。

また、今年も三輪（旧姓下津真理（高36））さんに歌と演奏をお願いしました。三輪さんは、広島を中心にシンガー・ソングライターとして活躍しておられますが、オリジナル曲に加えて、蘇州夜曲も歌っていただきました。三輪さんには、ご多忙の中、毎回快く引き受けていただき、

しかもボランティアで、機材も自ら持ち込んで準備をしていた

だき、本当に感謝です。

また、今回初参加の川口征記雄（高11）さんには、詩吟を披露していただきました。県内では詩吟の講師として活躍中で、大変素晴らしいパフォーマンスでした。

広島県内には、前述したお二人のように、多方面で活躍しておられる同窓生が数多くいらっしゃると思います。この同窓会の輪がさらに広がり、より多くの同窓生が集えるような会にしていきたいと考えています。

その後、懇親会では出席者の皆さんから、近況報告として、それぞれ興味深い話題も提供していただきました。

最後に校歌を合唱して、終了となりました。まだまだ話し足りない様子で、皆さん、来年の再会を約束しつつ、家路につかれました。

当同窓会の運営には女性の同窓生の貢献が大きく、女性のご理解やご協力があつて、毎年良い同窓会を開催することができています。今後も男女の同窓生が協力し合い、幅広い年齢層の同窓生に参加していただければと思っています。

次の5年間も、新たな同窓生の参加を得ながら、より良い同窓会となるよう努力していきたいと考えています。当同窓会は、毎年、8月下旬から9月上旬に開催しています。広島県内

や中四国にお住いの同窓生の皆様で、当同窓会に興味をお持ちの方は、一度問合せをいただければと思います。よろしくお願ひします。

【問合せ先】

〒738-0003
広島県廿日市市
四季が丘4丁目6-14
村田栄治（高28）
電話・FAX
0829-88-6211
e-mail
msxvr374@ybb.ne.jp

山口県同窓会

平成28年11月12日に山口県同窓会の総会、懇親会を山口市湯田温泉プラザホテル寿にて開催しました。

本部から本村事務局長にご出席いただき、また岡山県、広島



県からも友情参加をいただき山口県人の出席が伸び悩んでいるなか、温かい応援を有り難く思いました。

懇親会に先立ち、熊本県人会山口県会長の合志栄一氏を迎えて「熊本震災の報告、支援と復興について」の特別講演を行いました。4月の未曾有の震災が未だ続いていること、山口の地から何ができるかと、考えを新たにしました。

懇親会では若かりし頃の思い出話に盛り上がり、美酒も手伝って賑やかな宴となりました。今回は初めて披露された23回卒の山田格さんの素晴らしいギター演奏にも青春時代が甦り「胸キュン」の時間でした。ピートルズや冬のソナタのテーマ、そして校歌「道」をギターに合せて大声で斉唱し愉快に過ごしました。

来年もまた元気で会ひできることを約束し、万歳三唱で閉会しました。

中村裕子（高21回卒）

大分同窓会

25歳の時に転職で大分県に来て早くも11年が経ちました。そのほとんどを国東半島で過ごし、昨年4月の転勤から大分市内に住んでおります。

国東で思いがけず伊藤彩先輩（高49回卒、旧姓：豊田）に再会し、それが縁で「同窓会」に巡り合いました。

若い？世代の私達が盛り上げないと、と思いつつ、お世話役の松本宏次（高15回卒）さんのお人柄に甘えて、毎回お客さんのように参加させていただいております。

大先輩方の笑顔はとても素敵で、お話はとても温かく、ただだご一緒するだけで昔からの家族のようなそんな気持ちになります。大分にいながらふるさとの空気に心がほっとします。

少人数ですが大分の同窓会もとても楽しいですよ。今年もみなさんにお越しいただけると嬉しいです。

今年は10月21日（土）に行われました。

「一回、きてみないよ、よかばい、大分同窓会も！」

西田五月（旧姓：千代永）（高51回卒）

東海同窓会

「東海丸も皆様方のご支援により第三回の総会・懇親会を行うことが出来ました」

平成29年4月15日（土）、名古屋クラウンホテルで開催しました。

昨年の第二回総会は当日（4月16日（土））熊本大地震（本震）が発生し、早朝から連絡を取り合うなどドタバタでした。八高山本校長や岡山同窓会会長はやむなく欠席の事態となりましたが、関西同窓会、岡山同窓会の皆様のご協力のもと厳かに総会を執り行うことができました。

東海同窓会
坂田会長



気象予報士平井君
(八高 38 回生) 講演

それから1年、第3回総会は70名を超えるご出席を賜り総会・懇親会・二次会から三次会まで大いに盛り上がりました。また、懇親会におきまして募金（熊本地震）をお願いしましたところ、多くの皆様にご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。



八代高校東海同窓会第3回総会集合写真

鹿児島県同窓会

第2回目の同窓会を平成28年11月19日（土曜日）に開催しました。案内した分の10%の参加にとどまり、意外な感でした。

開催日を12月から11月へ、設立時に期待する気持ちで寄せられていただけに、早速意見交換をしました。①費用 ②会場 ③時期 ④案内文の工夫などについて見直しのできるものは改善することになりました。

今回は、自己紹介と近況について時間をかけたので、懇親会でも盛り上がり、あっという間の時間でした。さて、同窓会のあり方について、同期会は懐かしいでもとりも容易だが、全体会となるとなかなか難しい。母校愛も懐かしいも千差万別、さらに先輩、後輩というならわしが厄介な壁になり、緊張感と一方面的な流れが若い人たちには、耐え難いものとなっています。



如何に参加者を増やすかは、共通の場の設定にかかっていると思います。

楽しく語ること、飲むこともその一つ、悩みや心配事に耳を傾けることもその一つかも知れません。

縁あって八高卒のもの同士が鹿児島で暮らすなかで、行ってみよう、言ってみようというよ

うな場を作りたいと思います。全国八高同窓会の皆さんからのご意見を待っています。

各学年同窓会だより

八高
1回卒
昭和24年卒
「米寿の祝」
同窓会

旧制八中48回卒と新制八高一回卒の同窓会を本年4月13日「米寿の祝」として八代グランドホテルで開催した。参加者は16名であったが、東京・明石・岡山等からも出席してくれた。我々は昭和18年に旧制八中に入學し、戦中戦後の激動の時代に学生生活を送り、食糧難の時期を経験しているので、米寿の年まで長生きできるとは夢想だにできなかった。まことに幸運だったと感謝の念で一杯である。戦後の学制改革により我々の卒業は中学と高校に分かれたが、同窓会は「神さび会」として一本化している。神さび会同窓会は昭和46年に始まり、今回で24回目となる。卒業後50年になる平成11年には同窓会誌「回想」



を発売したり、平成13年から16年にかけては会報を発行する等同窓会活動を活性化してきたことが懐かしく思い出される。会員は益々高齢化し、同窓会活動も厳しくなるが、尚一層健康に注意して「卒寿」まで頑張りたいと願っている。

満田 豊（高1回卒）

八高
3回卒
昭和26年卒
戦争末期の頃

私は、終戦の年となった昭和20年3月、旧制八代中学校を受験した。受験が始まる前に受験生全員が、防空壕に入る訓練をさせられた。校長が台の上で軍隊式の敬礼をしたのが記憶に残っている。殆どの受験生は八代郡市の国民学校（小学校）卒業予定者であったが、沖縄からの生徒たちも数人いた。

無事合格して、万年筆を買ってもらって、入学すると、いよいよ中学の授業が始まった。それまでの国民学校（小学校）と大きく違ったのは、科目毎に教える先生が違つたことだった。特に、初めて習う英語は興味深かった。当時、中等学校では、英語の授業を止めた学校が多かったが、八代中学では英語を教えていた。最初の英語の時間は、今では考えられないが、なぜ敵国語の英語を学ばなければならぬかという説明であった。結論として、「敵国の事情

が分かる」というものであった。入学して、5月頃までは正規の授業があった。既に、3月10日には東京大空襲があり、その後、次々に大都市は空襲で破壊されていたが、八代の地は、まだ空襲を受けていなかった。ある朝礼の時、はるか西の空、おそらく長崎県の上空高く敵機B29が飛んでいるのを初めて見た。教頭先生が、「飛行機を見よ」と云って、皆が振り向いたのを覚えている。B29は、成層圏を飛んでいたらしく、1cm以下の大きさに見え、ゆっくり進む真っ白い機体が美しく、まるで白鷺のようであった。

やがて、授業は中断され、地域に分かれて農作業に従事するようになった。私達の地域の生徒は、宮地の山で開墾に従事させられるようになった。

その頃から、八代市も、しばしば爆撃を受けるようになった。ある日、敵戦闘機のグラマンF6Fが、6機縦列で襲来した。先頭の1機が急降下して、爆弾を投下して上昇すると、次の1機が急降下して爆弾を投下し、次々と機が降下して爆弾を投下して去って行った。場所が離れていたため、初めて見る、あまりにも見事な連携ブレイに、私は、恐ろしさを忘れて見とれていたのを記憶している。

敗戦の色が濃くなった頃、私が太田郷小学校の近くを帰っている時、米軍機の爆撃を受けた。急いで、近くの防空壕に入

れてもらつと、近くの製紙会社に爆弾が投下されて、防空壕が揺れ動いた。なんと、100m程しか離れていない所への爆弾投下であった。

その頃から、八代市も、しばしば爆撃を受けるようになった。夜は灯火管制のため真っ暗で、毎夜庭に掘った防空壕で寝るようになった。7月1日夜、自宅から見て西の空が真っ赤になり大火災が見えた。聞けば、熊本市が空襲で燃えているのだと云う。

8月9日、暑い夏の日であった。私達が宮地の山で開墾作業をしている時、雲仙岳の向こうの青空に、くつきりした白い雲を見た。形は苜蓿で、雲の中央の部分がピンク色であった。こんな雲をそれまで見たことがなかった。そこで私がその場にいた物理（その頃、物象とよばれていた）の先生に尋ねると、「わからない」と云われた。

雲は、何時間か経って、次第に形が崩れて行った。これが原子爆弾であったことは、後で知ることになる。

日本が負けつつあることは、誰の目にも明らかであったが、大本営は嘘の戦果を報道し、敵を本土に引き寄せてから壊滅させる戦略だと言ひ聞かされ、皆が、そのことを信じていた。8月15日、朝から敵機の襲撃はなかった。正午に終戦の玉音放送があった。音声が悪く、聞いて何のことか、理解できなかった

が、後で、やっと事の重大さに気付いた。必勝を信じていた国民には、この晴天の霹靂に呆然自失したのであった。

そして、8月30日に連合軍最高司令官ダグラス・マッカーサーが到着し、9月2日降伏文書調印式が軍艦ミズーリ艦上で行なわれた。

9月になって、中学の授業が始まった。しかし、物資不足食糧難に苦しめられることになった。

勉強するにも紙がなく、やっとな手に入れた粗悪な藁半紙に鉛筆で英語の単語を書いて、その上に万年筆で再び書く状態であった。インクも不足し、青の染め粉でインクを作ったものだった。

家庭の電灯は、電球に10cm程度まで近づけなければ、本が読めない蝋燭送電と云われた2燭光の明るさであった。しかも、その程度の電源供給も常時ではなく、しばしば停電があった。

米は殆んど口に入らず、主食はサツマイモであった。弁当は、蒸したサツマイモ2個で、腹が空くので、2時間目の終わりに1個食べ、昼食時には、残りの1個のサツマイモしかなかった。午後は、水を飲んで飢えを凌いだ。

しかし、戦争が終わったという喜びは大きく、空腹に耐えながら、多くの生徒は、スポーツを楽しんだ。私は、先輩たちと軟式テニスに興じた。運動場で

は、軟式野球が盛んであった。私達が、この時の苦難を乗り越えられたのは、思春期前の若さだったと思う。

西村謙一（高3回卒）

高 8回卒
昭和31年卒
80歳同窓会を終えて
H29・6・24(土)
セレクトロイヤル八代

昨年から、傘寿の同窓会を実施しようと思いつつ日々だけが過ぎ去り、夏あたりまでの実施を仲間に相談し、6月実施を決めた。

いかように案内状を出すか悩んだ。クルスの代表者を選び、60%の同級生に案内状を発送した。（案内状が漏れた方には大変失礼いたしました）

雨期の6月実施に晴天を祈りながら60人位の参加を期した。予想通りの参加を頂き盛会に終わったことは言うまでもない。卒業以来62年数々の荒波を乗り越えてきた同級生。

未だ元気に現役で働いている人、定年退職し、悠々自適に暮らしている人、個人事業者で引退した人等会を盛り上げてくれた参加者



は人生の勝者と叫びたいと私は思います。

元気がいいのは当然のことながら女性である。週3回1000mも泳いでいる人、90歳まで踊りたいし教えたいと言う人、絵を描いてみんなを癒したい人など人生を楽しんでおられる。

それに比べると男性は今一で半分近くは何らかの病氣と闘っていて、なかなか同窓会に参加できない同級生もいる。

中には、百歳まで現役で働いていた人、苦勞してやっとな軌道にのった仕事の完成を目指す人もいる。これも人生（80歳）かな。

しかし日本の明日はどうか。異常気象（地球温暖化）、近隣諸国の複雑化等、周りの空気がきな臭くなっている。若い世代に未来を託す前に社会を良くする仕事が我々には沢山残っているような気がする。

勝者であり続けたいなら、残された時間をまず健康第一で生き抜こう。これからだ人生は。

（世話人代表・松永 学）

高 9回卒
昭和32年卒
傘寿のお祝い同窓会開催

平成29年5月31日(水)八代神社の氷室祭に合せて、傘寿祝賀同窓会を、セレクトロイヤル八代で開催し、73名が参集しました。神事（傘寿祝及び健康長寿祈

願）後、健康長寿御守護を頂き、集合写真撮影、そして開宴、物故者慰霊黙祷、現八代高校の文武両道の躍進報告、出席者紹介と進み、御神酒で乾杯。



久しぶりの再会に、時を忘れて杯を酌み交わし歓談、又、女性の皆さんの高校時代を思い出しての「恋のバカンス」、そして我が故郷をおもい「故郷」ふるさと」の大合唱と、名残りはつきませんでした。

別れはつらいものですが、お互いの益々の健康とさらなる長寿を祈念しあい、堅い握手で再会を誓いあった同窓会でした。

垣田美彰（高9回卒）

高 10回卒
昭和33年卒
2017年は岐阜県巡りでみどりの風を感じました！

昨年は突然襲った熊本地震の影響で中止した関西三三三会恒例の「バス・ツアー」を今年は敢行できました。

多治見・馬籠宿・南飛騨馬瀬川温泉・飛騨高山まつりの森・白川郷・飛騨高山温泉・宮川朝



市・ひるがの高原と3日間の岐阜県巡りでみどりの風を頼いっぱい感じる。江戸と

京を結ぶ五街道のひとつ、かつて多くの大名や旅人に利用され江戸情緒あふれる中仙道の宿場町馬籠。ボランティアガイドの案内で石畳の坂道の両脇に立ち並ぶ格子造りの宿や作家・島崎藤村の説明を受ける。

初日の宿は下呂温泉のはずれ、奥飛騨の山あい深い緑と清流の南飛騨馬瀬川温泉。露天風呂には十三夜の月が湯船を照らして歓迎ムード。懇親会ではこの地ソングの♪木曾路の女♪奥飛騨慕情♪哀愁の高山等の歌合戦が延々と続けられた。

来年も、5月の連休明けの3日間は大阪・神戸・京都を巡る三都物語の「バス・ツアー」を計画します。十回生の仲良し皆さん！関西には是非集い下さい。

(関西三三三幹事・橋口敏昭)

高 11回卒 昭和34年卒

第11回生 「喜寿の宴」

11月23日八代妙見神社行事がユネスコ無形文化遺産へ登録された記念の日、86名の11回生が



集まり喜寿の宴を開催。神前で弥栄を祈り、記念撮影後黙禱、開会宣言、松嶋祐治氏の挨拶、事務局長白浜邦彦氏より経過報告、古

式ゆかしく霊獣猩猩が酒に浮かれて孝子高風を祝福する能を岡本洋子様に舞い納めて頂きました。乾杯後、松本豊馬氏のドジョウ掬い、フラメンコを見る様な物語性に感動、松村信廣氏のひよつとこ踊り、一人三役の熱演、松田洋子様のフラダンスには魅了されてしまい夢の中、その後、のど自慢が始まり、ブ口？セミブ口？の力量に感服。八高は創立百二十周年を迎え、今年は神馬を奉納、御祝の記念品のタオルを皆様への引出物とし、二次会は同じ会場を一新し、和気藹々と名残りはつきない夜でした。

「迷ったけど思い切つて長崎から来て良かった」と和田様の声に元気を貰いました。ありがとうございました。

29年8月26日八代中学・女学校・高校の大同窓会には27名の11回生が勢揃い、元気な顔で盛

り上りました。

(文責 村上満智子)

高 12回卒 昭和35年卒

喜寿を祝う 同窓会開催

八高12回卒は昭和35年卒業で35年の35を語呂合せで珊瑚会と称しています。

4月16日に喜寿を祝う同窓会を開催致しました。以前は学生時代果たせなかった男女一緒に夢の修学旅行を数回催してまし



たが、今度は喜寿を祝つて全員宿泊で温泉地人吉の「あゆの里」で催しました。今回はゆつくり温泉に入り、身も心も癒して若返つてもら

う。懇親会では青春時代タイムスリップして懐かしい友と再会し昔を思い出し、楽しい新たな思い出が生まれる様な同窓会を役員一同で企画、実行を致しました。お陰様で86名の参加者があり、懇親会の後も時の経つのも忘れ、各クラス毎、夜遅く迄昔の思い出話に花を咲かせる等、終始楽しい一夜を全員が満

喫して頂いた様子でした。

最後に役員全員が参加者の満悦した顔を目の当たりに見て今回も苦勞の甲斐があったと笑顔で感激した顔がとても印象的でした。

(第12回卒珊瑚会)

会長 清藤平治

高 13回卒 昭和36年卒

幸喜好麗者の集い

「学窓を巣立つて57年、心は今でも青春！」―卒業してあつ！という間に半世紀以上が経つた。

5月12日、高校13回卒の同窓会が本町のいけす料理店「宗弘」で催された。今年75歳を迎えて後期高齢者の仲間入り。そこで案内状にはもじつて「幸喜好麗者の集い」と銘打って呼び掛けたところ約70名が参集。

これまでの同窓会の案内は、還暦く古稀と賀寿の祝い周期で開催

して来たが、2年前は全卒業生に「活」を入れようと、「生存確認会」の会合を企画したところ、「オレはまだ生きているぜ！」と卒業して初参加の同窓生も多数いた。13回卒のユニークな会合の運営を支えているのは各組の世話人役の情熱である。毎月13日の夜は雨が降ろうが、槍が降ろうが、本町のキャバレー「白馬」前の居酒屋「長太郎」に招集がかかる。これまでに40年近く顔見一杯が続いている。

2年ぶりに旧交を暖めた面々は、ふるさとの新鮮な地産地消の食材に舌鼓を打ちながら各人の近況を報告したり、昔話に花が咲いた。後期高齢者に到達したことに對しては「75歳とは言うが、老人なんて言わせんぞ！」など氣勢をあげる元気な人も。その後二次会、三次会組はハシゴ酒を楽しんだ。そこでは青春時代の替え歌で「年金時代」を熱唱。歌詞のさわりを紹介すると「へ年金暮らしが夢なんて現役時代の甘い夢 年金時代の真ん中は医者に通っているばかりへ終活時代が直ぐに来るみんな遺言書いたかな ピンピンコロリが夢だけど 妻は悲しむ事もない」

翌日は球磨川河川緑地で催されていた「九州国際スリーデーマーチ2017」のウォーキングに挑戦する人もいて、二日酔い気味ながら、八代平野を完歩して健脚に物を言わせるつわも

のもいた。

「次回の集合はいつか？」「2年後の喜寿に会いたい」「3年後は東京五輪祭典の年。修学旅行も良かね」等の声も上がっていた。健康寿命の延伸も願い、アクティブシニアを目指す13回生の高齢期の「道」は続く。

佐藤好助（高13回卒）

高 14回卒
昭和37年卒

20回を超えた 同窓生旅行

八高百周年の同窓会記念行事（平成8年）は私達14回生の担当でした。色々な行事を行いました。初めての試みとして、同窓生全てが参加できる旅行「百周年の翼」を企画し、中国北海（ペイハイ）市を訪ねました。北海市はベトナムと国境を接する中国最南部の町で人口150万、白砂の砂浜が地平線まで続く南国情緒漂う街である。前年八代市は同市と「友好姉妹都市」の協定を結んだばかりで、我々の旅行団が北海市を訪れる最初の八代からの訪問団との事で、当時の同窓会長・宮崎典三さんを団長に総勢74名で訪問しました。直行便などなく、大韓航空のチャーター便で済州島経由でマカオに着、当時マカオはポルトガル領（因みに隣の香港はイギリス領で中国への返還前年）で入国、出国審査、中国珠海市に入るのに入国審査、珠海空港から二機のチャーター小型

機で北海市に入りましたが、到着は夜中になっていました。

北海市では大歓迎を受け、出来たばかりのシャングリホテルでのレセプション、砂浜に続く公園では植樹を行い「北海八代友好林」と書かれた記念碑の除幕式を行いました。それから20年私達が植えた木も相当大きくなっていると思います。もう一度訪れてみたい所です。その後、毎年同窓会、旅行会は続き



「百周年の翼」参加者全員での記念写真（マカオ国際空港）



北海市での記念碑除幕式、人物右から宮崎同窓会会長、劉北海市副市長

中国、韓国、台湾などの近隣の外国が6回、国内が10数回で、まだ行っていないところは東北四国のみになりました。なお、

今年は10月に東京の同窓生のお世話で、上野「鶯外荘」で同窓会を開催し、翌日箱根方面、次の日は都内とバスの旅を楽しんでいます。50名近くが参加予定です。

柏田 忠（高14回卒）

高 35回卒
昭和48年卒

3年1組 クラス会

5月27日に熊本市内の城見橋で昭和48年卒業3年1組のクラス会を開催しました。

担任の森宏先生を始め、男子11名、女子7名の出席で久々に旧交を温めることができました。78歳を越えても飄々とした中に凛



とした姿勢を貫かれています森先生と還暦を3年前に迎えたのに

論語の「耳従う」の境地になかなかたどり着いていない私たちですが、思い出しはいても簡単に40数年前へと時空を超えていき

ました。森先生のお宅にたむろしたと、授業風景、早弁、クラブ活動、恋心、進路相談、蜂楽饅頭、こむらさきラーメンなどの固有名詞も飛び出し、話は尽きません。みんなの近況を報告しあい最後に校歌を熱唱し、再会を約束して散会しました。

昨年の大地震で被災した熊本城の天守閣も「次は元の力強い姿で、ここで待っているよ」と語りかけているようでした。

（文責 橋口敏光）

陸上競技部 OB会

バーン！スタートのピストルの号砲の響きの中で、青春時代を過ごした、八高

陸上競技部のOB会が平成29年8月12日に八代ホワイトパレスで開催されました。

高4回卒から、この春に八高を卒業したばかりの69回卒まで53名のOB・OG、そして現在、八代高校・八代中学で陸上競技部を指導しておられる松森・小田原・野田の3人の先生も参加されました。

特に、今春卒業した69回卒が7人、昨春に卒業した68回卒が7人、さらに、66回卒が2人

と、卒業したばかりの若いOB・OGが多数参加されたことは、会場一杯に華やかさと活気が満ちて、素晴らしいOB会になりました。

NHKお天気キャスターの平井信行さん（38回卒）も多忙なスケジュールの合間を縫って参加して下さいました。

平井さんは、午前中、八高のグラウンドで現役の陸上競技部員の練習を參觀し、部員達と色紙の交換をされました。



平井さんの似顔絵の入った色紙をもらって生徒達は大喜び、また、平井さんも部員達から色紙をもらい、これは私の宝物だと話されました。

平井さんは、OB会で「八代の天気予報」のタイトルで講演をされ、さらに、その後の2次会では深夜まで歓談して帰られました。

参加者の年齢差が65才もあるOB会でしたが、陸上競技部の活躍を改めて認識させてくれた楽しいOB会でした。

岡山元紀（高10回卒）

母校だより

部活動の活躍

団体6種目がベスト8

高校総体

高校総体熊本県大会は、団体6種目がベスト8に進出し、女子バレーボール3年連続、女子テニス2年連続、男女バドミントン、男女卓球3年連続と、計6種目がベ



スト8に進出するという素晴らしい結果を残してくれました。ベスト8への進出は、平成27年

度が4種目、平成28年度が5種目ですが、今年も大躍進です。ベスト8



まで進出しますと、公立高校はほとんど姿を消し、対戦相手は、私立高校が相手になります。公立の学校でベスト8に進出することがいかに難しいことなのか

が分かります。この厳しい戦いの中で、八代高校は本当に素晴らしい結果を残してくれています。

さらに、陸上部、水泳部は南九州大会や九州大会にも出場を果たし、その上位大会であるインターハイへの出場も果たしています。

以下にその結果を掲載します。

【陸上部】

高校総体の南九州大会の結果です。

- 男子100m 鮎田（2年） 6位
- 男子200m 鮎田（2年） 4位
- 男子400m 坂本（3年） 6位
- 男子110mH 林田（1年） 6位
- 男子4×100mR 5位
- 男子砲丸投げ 丸尾（3年） 5位
- 女子走り高跳び

- 平田（2年） 4位
- （インターハイ出場）
- 女子4×100mR 6位
- 女子4×400mR 6位

女子走り高跳びの平田さんは、東北で行われたインターハイに出場しました。

来年のインターハイにも是非出場を果たし、記録を残したいと誓っていました。

【水泳部】

九州大会の結果です。

- 男子50m自由形 塚原（2年） 6位
- 男子100m自由形 塚原（2年） 7位
- 女子100m背泳ぎ 緒方（3年） 3位
- （インターハイ出場）



緒方さんは東北で行われたインターハイに出場を果たしました。

放送部 全国大会出場決定

文化系部活動も活躍しています。

【放送部】

- 第64回NHK杯 全国高校放送コンテスト
- 熊本県大会

ラジオドキュメント部門 3位（全国大会出場）

【文芸部】

- 第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール
- 八代高等学校文芸誌 「白鷺 第71号」 優良賞

【合唱部】

- 第72回九州合唱コンクール 熊本県予選
- 八代高等学校・八代中学校 クール・サンク 金賞
- （九州大会 出場）

【個人】

- 第34回熊本県高等学校ピアノコンクール 桑原（2年） 金賞
- 第30回熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール 金管楽器部門 清水（2年） 金賞
- （上位選考に進出）
- 木管楽器部門 岡村（2年） 金賞

次に中学校の熊本県大会の結果を掲載します。県大会への出場は八代郡市大会の上位者になります。

八代中 水泳九州大会へ

【中学校県大会】

- 柔道66kg級男子 上野（3年） ベスト16
- 柔道63kg級女子 木下（3年） 3位
- 空手道男子形 宮坂（2年） ベスト8
- 水泳100m男子平泳ぎ 隈部（3年） 2位
- （九州大会出場）
- 水泳男子200m個人M 隈部（3年） 3位

県大会で上位入賞の隈部君は九州大会へ進出しました。



八代高校・八代中学校の生徒諸君は、まさに文武両道を地で行く八高を具現化してくれています。

これからも大いに活躍してくれるものと確信しますので、どうか応援の程よろしく願います。

八高・八中が展開するグローバル・アクション・プログラム

ビジネスプランコンテスト

全国で大健闘

全国大会第3位（昨年優勝）

第11回ヤマト運輸 高校生経営セミナー



本校から出場の2年生女子5名のチームが西日本地区上位4チームに入り、全国大会に進出しました。昨年の優勝に続き、2年連続の全国大会出場です。本年度は「フルデジタル化」をテーマにした経営プランを提示し、見事全国3位に輝きました。

全国大会第4位

JA Travel and business Program (TTBiz)

旅行プランの企画を競い合うプログラムです。

本校1年生女子4名で編成し



たチームが西日本予選会上位2チームに入り、決勝に進出しました。昨年度に続き2年連続の快挙です。本校生徒4名は、

7月から活動を開始し、シンガポールとフィリピンの高校生たちと電子メールやWeb会議システムを活用しながら、旅行プランを作成しました。

全国大会9位 熊本県大会優勝

第11回全国高校生 金融経済クイズ選手権

「エコノミクス甲子園」

高校2年生1チームが参加。熊本県大会で見事優勝し、全国大会の出場権を得ました。各地方大会の優勝チームが集う全国大会（東京）では、全国9位と健闘しました。

「エコノミクス甲子園」は、金融・経済をテーマにした高



校生クイズイベントで、出題される問題は単純な金融経済の知識だけでなく、新聞やニュースを元にした時事問題や、お金に関するトリビア、より生活に根差した家庭科など幅広く「お金」に関する知識が問われます。

全国最終審査進出

ソーシャル

イノベーション・リレー

(Social Innovation Relay2016)

1次予選

には全国各地から160チームの1次アイデア提出があり、2次予選に進出する20チームが選考されました。1次選考の結果、本校からエントリーした5チームのうち、高校2年生の1チーム、1年生の2チーム、計3チームが予選を見事突破しました。更に、2次選考が行われ、全国20チームの中から7チームが選出されました。見事本校1年生女子2名（7チーム招待）へ進出しました。



英検米国大使賞を受賞

日本英語検定協会米国大使賞

本校は平成28年度英検受験優秀校として米国大使賞を受賞しました。米国大使賞とは、英検受験率が最優秀の学校に贈られるもので、国公立中高一貫校部門の最優秀校として、本校が受賞しました。



科学の甲子園 全国大会へ
熊本県大会優勝 & 3位

第5回科学の甲子園ジュニア 熊本県大会



大会は、数学や理科の難問を解く筆記競技と、数学・ものづくりに分かれての実技競技が行われます。中学1年生2人、中学2年生4人で構成する八代中学校チーム（インフィニティ）が優勝し、八代中学校チームフェニックスが3位に入賞しました。

した。優勝した八代中学校チームは、12月に筑波で行われる全国大会に出場します。

オーストラリア研修

平成29年度から海外語学研修としてオーストラリアでのホームステイ語学研修を始めました。7月15日から30日までの15泊の日程で、クインズランド州ゴールドコーストにあるボンド大学



を中心に研修しました。将来の姉妹校提携を結ぶ候補の高校も訪問することができ、本当に有意義な研修となりました。

イングリッシュ・キャンプ

福岡県宗像市のグローバルリーナでEnglish Campを実施し、今年3回目を終えました。

高校生6名中学生23名が参加。全てを英語で生活する英語漬けの3日間プログラムです。



「志高く、『行ける大学』ではなく『行きたい大学』を目指す」～進路実績についてご報告

進路指導主事 高木 慎二

1 平成29年春の進路実績

～東京大学3名

～京都大学1名合格～

今春の入試において、本校生

は八高スピリットを胸に高い志望を堅持し、創立120周年の年にふさわしい素晴らしい結果を収めました。東京大学の合格は12年ぶりで、複数名合格は57年ぶりの快挙です。同時に京都大学にも1名合格を決めています。また医学部医学科にも1名、九州大学をはじめとする難関大学にも結果を残しました。

中高一貫校となつて、本年は八代中学の3期生が卒業した年に当たりますが、1期生が在籍した3年前からの進学実績の主なものを以下にご紹介します。以前の年度も含めた詳しいお知らせは本校ホームページをご覧ください。是非、参照下さい。

2 本校の3つのプログラムとグローバル人材育成

本校ホームページにも詳しい紹介がありますが、「知の触発プログラム」「グローバルアクション

プログラム」「グローバルリサーチプログラム」の3つのプログラムに生徒たちが取り組む中で、進路選択の大きなヒントを得られます。



全校生向け進路講演会

進路指導部ではこのうち特に「知の触発プログラム」の中で、各界の第一線で活躍中の研究者や実践者による講演会や学問を知るイベント、大学を知るイベントなど提供しています。英語力の向上も大きな要素です。英検やGTECなどの外部検定試験の全員受験、ディベートの導入、海外研修の実施など多角的に行なっています。

3 高い実績を継続するために

東京大学や医学部の合格を継



テレビ会議システムによる
難関大志望者向け進路講演会

続的に出すためには、低学年次からの意識付けを行なつて第1志望を高く持つ生徒諸君を育てることが大切です。一例として今年度、東京大学のオープンキャンパスに本校独自の企画を加えた東京大学訪問を始めました。これには同窓会から多大なご支援をいただいています。他にも志望者向けの講演会や先輩の母校訪問を計画し、継続して合格者を出す流れを創出したいと考えています。



高3生学習会(ホワイトパレス)

4 母校の進路実績向上に向けて



進路指導部主催東京大学訪問にて

子どもたちが持つ可能性はまさに無限大です。本稿のタイトル通り、学校という場では子どもたちに高い志を持たせて第1志望を貫く指導を心がけており

ます。社会の変化にシナヤカに対応し、答えのない問題に意欲的に取り組む力の基礎を八代中学・高校でつけさせます。ぜひ、後輩たちの頑張りを支援ください。よろしくお願いいたします。



合格体験発表会の一コマ

合格おめでとう H29 年入試結果

東京大学 **3名** (文Ⅲ 2、理Ⅰ 1)

京都大学 **1名**

大阪大学 **1名** 神戸大学 **2名**

九州大学 **7名** 国立大医一医 **1名** (熊本大学)

難関国立大学+医・医 計 **15名達成**

=国公立大=

静岡大 1名	信州大 1名	広島大 4名
山口大 3名	九州工業大 1名	福岡教育大 4名
熊本大 20名	佐賀大 3名	長崎大 1名
大分大 2名	鹿児島大 10名	宮崎大 3名
首都大東京 2名	山口県立大 1名	長崎県立大 1名
北九州市立大 3名	熊本県立大 16名	等

=私立大学=

早稲田大 2名	慶応義塾大 2名	中央大 3名
明治大 2名	東京理科大 2名	同志社大 6名
立命館大 4名	西南学院大 12名	福岡大 27名
熊本学園大 39名	崇城大 29名	熊本保健科学大 20名

など多数合格

H28年

名古屋大 1名	北大 1名	大阪大 1名
九州大 10名	熊本大 32名	国立大医学科 5名

H27年

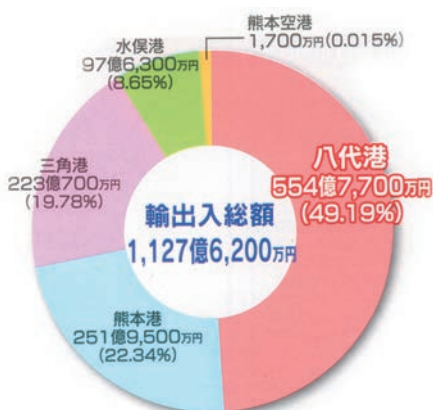
東北大 1名	神戸大 3名	九州大 8名
熊本大 21名	国立大医学科 2名	

南九州のゲートウェイ 国際港湾 八代港！！



古来より近隣諸国との貿易で栄えてきた八代の港は、徳洲の津、蛇籠港、内港、外港へと伸び国際港へと変貌。

現在の八代外港、“年々増える観光客用大型クルーズ船寄港”と“益々増大する貨物量を扱う大型ガントリークレーン”が共存する風景。



県内貿易に占める港の割合(平成28年)
[資料：八代税関支署 管内貿易概況]

八代港の現状と今後の展望 人流＆物流拠点へ

昨年、平成28年の八代港における物流では、国際コンテナ貨物の年間取扱量が過去最高を記録。定期航路は現在、韓国・釜山航路が週3便、国内航路が1便就航し、熊本県下の物流機能の拠点として利用されています。

輸出相手国は、韓国、中国、ベトナムなどで、再利用資材、原木、金属くずなど。輸入相手国は、韓国、中国、タイなどで、染料・塗料、化学工業品、飼料、肥料、及び衣料……が主な貨物品名となっています。

来年4月には新たなコンテナターミナルの供用が開始される予定。その整備により大型船舶の受け入れが可能となり、益々貨物量の増大が期待されています。

また、八代港における人流に関

しては、近年大型クルーズ客船の寄港が増加していて、H27年度は14隻、H28年度は15隻、今年度は70隻以上の予定となっています。

今年1月、八代港は「官民連携による国際クルーズ拠点」という全国6港の一つに選定され、7月には、国土交通大臣より「国際旅客船拠点形成港湾」として指定されました。これにより、国・県・世界的なクルーズ船社ロイヤル・カリビアン・クルーズ社による耐震強化岸壁を含む新たなクルーズ専用バースや、大型バス駐車場、商業施設、関税・出入国管理・検疫のいわゆる「CIQ機能を持つ旅客ターミナル」などの整備が進められ、将来は200隻を超えるクルーズ船の寄港が期待されています。

これからの八代港は、近い将来、直線で約1600mの岸壁とな

ります。新しく設置された大型ガントリークレーンを含む新コンテナターミナルの供用が開始され、国際クルーズ拠点の整備などで、八代港の魅力や国際競争力も一層高まり、物流拠点と人流拠点を併せ持つハイブリッド国際港湾として期待されています。



八代市としても、主要貨物の増加や、新たな港湾利用に繋がるよう、各荷主企業や商社などに対し「八代港」の優位性を広く周知し、新たな航路誘致を含めたポートセールス活動を行っていきます。

*CIQ：国境を越える交通および物流において必要であるとされる手続きのこと。税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)の略称。

八代妙見祭をホノルルでPR 第23回ホノルルフェスティバル



▲復興支援に感謝の気持ちを表す
流鏝馬保存会のメンバー



▲「亀蛇」も勇壮に
パレードに参加

米国ハワイ州ホノルルで3月10日から12日にかけて開催された第23回ホノルルフェスティバルで、八代妙見祭の人気者「亀蛇（ガメ）」が勇壮な舞を披露しました。

八代妙見祭流鏝馬保存会のメンバーを中心とした26人がグランドパレードに参加し、熊本地震に対し世界各国から寄せられた支援に感謝の気持ちを表すとともに、昨年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭の魅力を世界に向けてPRしました。

治道に詰めかけた観客は、初めて見る亀蛇に驚き、歓声を上げ、亀蛇の舞にたくさんの方の手を送っていました。

「やつしろ物流拠点構想」 早期策定に対する県への要望



▲蒲島郁夫県知事（右）に要望書を手渡した中村博生市長（左）

1月25日、中村博生市長が県庁を訪れ、「やつしろ物流拠点構想」の早期策定を願う要望書を蒲島郁夫知事に手渡しました。

同構想は、昨年の12月県議会で議決された「熊本復旧・復興4カ年戦略」において具体化に向けた検討を進めると記載されているものであり、交通結節点としての機能が高まる八代地域のポテンシャルを最大限に活かし、南九州の物流拠点化に向け、期待が高まるものとなっています。

中村市長は「本市では物流機能の強化による地域振興が期待されている。本市もできる限りの協力を行うので、震災復興の一助のためにも早期策定をお願いしたい」と述べました。

子どもたちが主役 くまもと子ども芸術祭



▲榎木児童神楽による榎木神楽のステージ

8月11日、12日に厚生会館でくまもと子ども芸術祭が開催されました。これは地域文化の活性化と伝統芸能の継承などを目的としており、八代での開催は今年が初めてとなります。

展示会場では「海・山・ふるりの文化を未来へ 私がつなぐ!」をテーマに、八代地域の小・中・高校生による書道や美術・写真などの作品が展示されたほか、ステージでは八代の伝統文化の披露や吹奏楽の演奏などがありました。また、体験コーナーでは華道、茶道教室や陶芸の体験が行われ、多くの家族連れが楽しめました。風車作りを体験した野中拓斗さん（八千把小2年）は「うまくできて楽しかったです。家に帰ってお父さんと遊びたい」とうれしそうに話しました。

やつしろの景色を満喫 第23回九州国際スリーデーマーチ 2017



▲元気に出発する参加者

5月12日から14日までの3日間、「第23回九州国際スリーデーマーチ2017」が開催され、約1万7000人のウォーカーが参加しました。

初日は天候不良によりコースの途中で中止となるハプニングがありました。2日目と3日目は天候にも恵まれ、自然の風景を撮影して楽しむウォーカーやチェックポイントでの「おもてなし」に笑顔がこぼれるウォーカーなど、さまざまな表情が見られました。また、会場内ではたくさんイベントがあり、多くのお客さんで賑わいました。

高田湧水コースを歩いた久我ゆめさん（八千把小4年生）は、「お母さんとしりとりしながら歩いたので、とても楽しかったです」と話しました。

われら青春!! 熱血八高、学園ドラマ編



岡山前会長 同窓会報の創刊号に、旧制八代中学校そして高等女学校の方々の座談会を掲載しました。全国各地の卒業生の反響が大変大きくて、一番注目された記事じゃないかと思っています。そして第2号から第6号まででそれぞれ卒業年度をわけて座談会を企画いたしました。25回生までが終わっております。第7号と第8号では熱血青春部活

出席者

恩師

本田政弘先生

(昭和47年—56年勤務)

工木武雄先生

(昭和41年—56年勤務)

森 宏先生

(昭和47年—52年勤務)

岡田俊子先生

(昭和43年—62年勤務)

卒業生

高26回 豊田裕司 西田晴美

高27回 皆吉正博 楠本紀子

高28回 福田智親 田邊敬子

高29回 川崎年春 築出富美

同窓会前会長

岡山元紀 (高10回)

司会

一 親房 (高28回)

動編として、10のクラブの部活動を掲載致しました。今年は、再び学年毎の座談会として、26回生から29回生に来ていただきました。当時の出来事をお話し頂きたいと思っています。

司会 司会を担当します一と申します。はじめまして(笑) それでは最初に自己紹介を簡単にお願いしたいと思います。

本田 こんにちは、本田といいます。八代高校には37歳から45歳まで9年間お世話になりました。私自身一番元気のいい頃で、非常に才能豊かな生徒諸君に囲まれて、楽しくも有意義な八高での教鞭時代だったと思います。八高に来て強烈に印象を受けた事がありません。1年生の担任をしたらんですけど、女子生徒から

合格祝いをするから来てくれと言われ、行ってみたら親戚一同が集まっていて、お礼を言われました。父親はPTAの役員をしていて、「八高に入学できた事が何よりも一番の花嫁道具になりました」と話されました。八高は地元にとって、そんな学校なんだと強い印象を受けました。

工木 体育を教えておりました、工木です。教え子たちに会うと「まだ先生、生きとんなさつとですか」と言われ、今日も言われました。残念ながらまだ生きております(笑)。今年80になりました。八高で15年間お世話になりました。いろいろ思い出がいっぱいで、子どもが3人おりますけど、全員八高に行きました。またこれも全部生きております(笑)。今日はたかさんの同僚の先生と、あとはほとんど全部教え子になりますけど、楽しく過ごしたいと思っています。宜しくお願いします。

森 47年から52年までお世話になりました。家内が日奈久に住んでおりまして、古い家でしたが、教えている子、教えていない子が両方とも良く泊まりに来ていて、今でもその生徒たちとつながりがあります。益城に家を建てたのですが、地震に遭い

まして、一番先に駆けつけてくれたのが八高の卒業生でした。八高に来て一番感動したのは、校歌ですね。もうびっくりしまして、知的なレベルの高さは格別で、色んな学校を回ったのですけど、やっぱり、八高の校歌が一番レベルが高いですね。感動しました。

岡田 今日は宜しくお願い致します。私は43年から62年まで、長く勤めさせていただきました。実は私が八高に居る頃は、八高の卒業生が八高の職員になることが非常に多かった時代です。私も大学を卒業する時に「早よう子どもを産んで、八高に戻ってこんばんね」と先生方から言われました。二番目の子どもが生まれて、産休中に八高に行きましたら、校長先生が来られて、「もつ子どもが二人もあんな上等ばい。来年は八高にこんばんね」と言われました。そしてそんなことで、



岡山前会長



森 宏先生

転勤が決まった時代でもありませんでした。今日は楽しみにして参りました。30年以上も前のことになりませんが、思い出せないことが多いのではないかと、申し訳ない思いで、ちょっと小さくなっております。今日はよろしくお願い致します。

豊田 昭和30年生まれ62歳になります。7月に定年退職して、「あなたも暇だろたい？」というところで、こういう席に参りました。最近同窓生とインターネットでのSNSなどをやっていて、(フェイスブックで30人くらいいるんですねども)、そこで「当時の思い出話、何かない？」と聞いたのですが、皆も結構忘れていました。(笑)戦々恐々としておりますがよろしくお願いいたします。

西田 主人は高校の同級生、そして主人の両親も高校の同級生同士、また、更に息子も高校の同級生と結婚、これも八高の縁かと思っております。本日はよろしく申し上げます。

皆吉 私が3年間で無事卒業することができたのは、本日お見えの先生方のおかげと思っております。今年3月31日に退職。楽しい学園祭の事は話せても、学業のことはなかなか言い

難いというのが今の感想です。今日はよろしく申し上げます。

楠本 皆吉さんからお電話をいただいて、大した事ない、と思っていたら、郵便物が送られて来てびっくりしました。私も学業のほうは、何も話す事はないなと思いつつ、びくびくしております。今日はよろしく申し上げます。

福田 私たちは昭和のまったくど真ん中で育った世代です。小さい頃から、親から「八高にいかねばい。八高に行って大学に行かねばい」といった形で育てられて、八高に入学できて、私の夢はそこではないでした。後の人生は本当に楽しく過ごさせてもらって、私も先輩方と一緒に、定年になって八代に帰ってきて、そろそろ頑張らねば、ということ、学業理事事との場を仰せつかりまして、今日はあらゆる頭を使って過去の事を思い出しながら、頑張つてやりたいと思いま

す。宜しくお願い致します。

田邊 兄弟が4人おまして、4人とも八高ですけれども、(私以外)みんな同窓会にあまり行かないんです。順番に(昭和)35年、37年つておりますけれども、来年40年生まれの弟が幹事学年になります。ところが、なかなか弟が同窓会に燃えんとです。よね。「燃えているのはあんたばつたたい」て弟には言われております。福田さんから10年くらい前に、講金に誘われ毎月参加しています。高校の時に全然喋ったことがなかった人、運動部の人たちの話を聞くのが楽しいです。今日森先生が八高の校歌が素晴らしいとおっしゃられましたけれども、私は、毎月亡くなった同級生のお参りに行くのですけど、八高の校歌を聞くと、その方のことを思い出します。すよね。彼のおかげで八高のことを思いながら過ごす事ができて本当に有難いなと思っております。よろしく申し上げます。

川崎 29回生の川崎です。高専ができたお陰で全入という恵まれた年で、出来の悪いのはご存知のとおりです(笑)。土木先生に担任を持ってもらって、2、3年耳の痛い話をして頂きました。あんまり役に立ってと思いませんが、村山さんの話は断れ

ないので(笑)、宜しく申し上げます。

築出 29回生の築出です。正直、八高の思い出つてあまり覚えてないんですけど、精一杯思い出して話したいと思えます。

八高生は知的レベルとユーモアのセンスは抜群。しかし、文武両道となると・・・?

司会 ありがとうございます。当時の八高生の学業はどうでしたか。

森 八高生はやっぱ優秀だったですもんね。本当に卒業した後もいろんな分野で活躍しておられます。ガリガリ勉強していた生徒はいなかったように思います。けれども、言葉の端々、遊びの端々に優秀だなという風に思いました。「勉強せいで勉強せいで勉強せいで」と暑中見舞いを出したら、「先生の励ましの

本田政弘先生



言葉にハグみます」と「励む」の字が、「ハグ」と書いてあって、そのころ私がちょっとハグできていたものだから、そういう所が賢いなと思ったことがあります(笑)。いろんな分野に教養があり、本当にユーモアがあつてレベルが高かったです。私の日奈久の家に遊びにくる事自体が、他の学校にはなかったし、だいたい30人くらいは来ていました。温泉に入つて、勉強もしておりました。今でも付き合いがあるという事は、対等に私と話ができたという事。非常に対等な人間同士として付き合いができた時代でした。授業では私の授業を一生懸命聞くんです。聞いて(授業を)脱線させるんですね、これがうまかったです。人間性が豊かで文武両道、スポーツもしておりましたけど、余裕をもつてやっていたね。勉強ばかりする進学校、という印象はなかったです。

本田 八高に来る前、郡の小規模な高校で学習指導をして、その後八高に来ました。確かに能力はあると思うんですけど、その才能を伸ばしきれない。非常にのんびりしているムードにはびっくりしました。一つは、近くに競争相手となる高校がない。親御さんは八高に通つたら卒業してもらつたら良いというよう

田邊敬子さん





皆吉正博さん

応でした。結局、八高生は大学に行きたければ予備校に行けばよいという雰囲気があった気がします。とにかく八高生活を乐しみたいという感じでした。

豊田 私はクラブ活動はやっていませんでしたが、かといって勉強も大してやっていませんでした。友だちと遊ぶことが多く、3年生になってから大学というものを意識したと思います。

皆吉 高校3年間で勉強ばかりやったのではなく、いろいろな経験をしたことが逆に自慢にもなるし、友だちや先生たちとの人間関係をうまくやっていくというのが3年間のテーマだったようにも思います。

外から見ればすごく甘いと言われるかもしれませんが、逆を言えばすごく恵まれた青春時代を過ごさせて頂いたように思います。

司会 当時は浪人が当たり前の時代でしたね。多くは、浪人してから一生懸命勉強していい大学に行っていたようです。実際はどうだったのでしょうか。

岡田 高校3年生のときですが、仮装行列に大きく、6・3・3・1・4制を制定せよとかそういうことが書いてあるんですね。その当時はみんなさう考えていた

のだと思っていました。それからしばらく他の学校に行って八高に帰ってきたときになんとなくその雰囲気が残っているんですね。「ああ、変わってないなあ」と思いました。ただ、基礎がきちんとしてなければ浪人したって伸びないから、とにかく基礎を学ばせないといけないなと思いました。ただ、共通一次が始まった頃から少しずつ生徒の意識も変わってきて、2年生で文系理系分けるようになってから随分勉強する子が増えたような気がします。

川崎 私たちの頃はなんとなく伝統的に浪人するという雰囲気がありました。ただ浪人は親の負担が大きいのは間違いないので、うまく3年間で大学にいけるようになると良いですね。私は28年間、県外で生活していましたが、そういった雰囲気の

中で過ごしたことは幸せだったなと感じることがありました。

**勉強第一、部活は第二？
友人関係に重きを置いた
学園生活**

司会 部活動についてお聞きします。

工木 私は15年八高にお世話になりました。15年という間で生徒も先生方も随分変わっていき

ました。最後の方では兎に角、現役で国公立に行かせるんだと、本田先生や他の先生もよく勉強を教えられていたと思います。私から見れば文武両道の文が多くつて、私なんか野球部の監督をやっていましたが、先生たちの中では随分小さくなっていました。

土日も課外なんかがあつて、部活は午後からしか出来ません



川崎年春さん

でした。野球に限らずどの部活の子たちも夏の大会が終わったらずぐ勉強に本腰を入れて、そういう切り替えの上手な生徒たちが多かったと思います。先生たちも勉強を教えた後、部活の顧問などで生徒たちと本気でぶつかっていました。遊ぶ時は遊ぶ、勉強する時は勉強するといった、大して悪いこともせず、素晴らしい先生たちと素晴らしい生徒たちでした。

本田 当時は甲子園の予選の時も午後からの試合なら午前中少しでも課外をやった後に、自転車で八代駅まで行って、試合に出発していましたね。

司会 昭和48年から高校総体というのが始まったそうですね。クラブ活動での思い出話などあつたらお願いします。確かボート部が強かった世代ですね。

皆吉 私はボート部ではなかったけど、ボート部の伝統である

福田 3年生が武道場に集められて、先生から毎日3時間勉強すれば、みんな熊大に合格するというような訓示がありました。そのときは皆部活などが忙しくてそんな暇はないという反

人吉まで60kmを歩くという行事にも参加したことありました。部活が違っても何らかの行事などに参加でき、それが八高の良いところだったと思います。

福田 私は小学校の頃から剣道をしていました。私たちの学年は剣道が強い生徒が集まっていたので、当時全国制覇するような東高にも学年別では勝つたりしていました。3年生になるころには良いところ巡りけそうないがしました、あまりに剣道ばかりやっていたので親父にしばらくの間休部させられてしまった。そんなときラグビー部でインターハイ予選までラグビーをやったのですが、やはり部活を一生懸命やると体力がつくので、3年生の2学期、夏の大会後にそいつた部活で埋もれていた人たちが、いざ勉強に集中すると、成績が一気に上がるということがありました。自分では気づかないものですが、部活に入ると体力がつきます。夏のインターハイ予選が終わって勉強モードに切り替わると、今まで部活ばかりだった人間が急に学力が伸びていきました。10番以内、20番以内に入る人間もあり、私も抜かされていきました。部活で体力がついたので、一晩や二晩徹夜をしても大丈夫だった。

たのでしよう。そういう経験がありますので、娘にも高校ではたくさんの友だちを作って、部活して学園生活を楽しくぐれと伝えました。本人も言ったとおりに学園生活を楽しんでくれたようです。

田邊 私は部活には入っておりませんでしたが、先生に頼まれて華道部に入りました。中学校の時はバレー部でしたが、文化系に入ったわけです。その時の思い出がありまして、部費の折衝で生徒会に行ったのですが、そこで「お金が無ければ質屋への行き方教えますしうか？」と言われました。ユニークな生徒会長さんだったのでしようが、なぜ高校生が質屋に行かないといけないのだろと思つた記憶があります。部活自体は本当に花を活けることばかりでした。

岡山 先程ボート部の話が出ましたが、昭和50年台は全盛期だったようで、本人は萩原橋の

下で練習をしていたと聞いています。最近はずももの数が少ないので部活動も生き残りが激しくなっているようです。昭和50年に創立80周年の行事がありましたが、八高100年史を見ると、八高応援歌「力、夢、友」が発表されたそうです。

福田 私たちが3年生の時が丁度80周年でした。体育館で記念式典があつて、その時にお披露目になったのは覚えています。

司会 夏合宿はどうでしたか？

楠本 私は森先生のご指導のもと、3年間バレー部に所属していました。今の八高の自転車置き場辺りに同窓会館というものがあまして、男子はそこに泊まり、女子は家庭科室だったと思います。おおよそ1週間は泊まったと思います。当時はバスケットボール、バレー、卓球、器械体操とあり、体育館を全部使えたわけではなかった、スパイクの練習も出来ませんでした。そういうこともあつて、夏の合宿は厳しかったですけど、とても楽しかったです。先輩後輩の繋がりも深まりました。1年生が食事を作っていたのですが、窯焚きだったのでお米を焦がしたり、味噌が足りなかったので味噌汁

に塩を入れたがすぐくしょっぱくなつたりと、色々なトラブルもありました。夜は花火もやりました。八高の先輩は優しくて思いやりがあり、とてもいい関係が築けましたし、今でも交流があります。そういった所は八高の伝統なのかなと感じます。

川崎 私は部活はやってなかったのですが、サッカー部に仲のいい友だちがいたのでたまに練習試合に出たりしてありました。スポーツは勉強とは違つた脳を使うので、やればやるほど脳の活性化に良かったのだと思います。スポーツはやるべきですね。

工本 私が指導していたころは保護者会というものもありませんでした。仕事の都合で試合を見に来られる方、来られない方がおられましたので、来られる方だけ来てもらうスタイルでした。今は親が送り迎えもする時代ですが、私たちの時代はそう

いうことが出来ませんでした。そもそも運動をするなという親御さんも多く、隠れて部活動をしていたような風潮もありました。

今、明かす！秋山選手物語

司会 それでは、せっかく工本先生に来て頂いているので、秋山選手がいたころの野球部の話を伺いたいと思います。甲子園出場を目指す大会で、9回までは八高が勝つていたときのお話をお願いします。

工本 当時は部員が18人でして、その年の春の大会で優勝して、九州大会が沖縄であり、その時ベンチに入れるのが16人まででした。レギュラーの分は県の高野連から出ましたが、残りの2人は出ないので校長先生から連れて行くと言われましたが、私の分の旅費はいらなかつた。今親が送り迎えもする時代ですが、私たちの時代はそう



楠本紀子さん



工本武雄先生

ターに打たれて負けたのですが、スタンドは大変盛り上がり、良かったです。ベンチは私と選手も含めてそんな雰囲気ではありませんでした。全然勝ち負けにはこだわってなかったのです。試合に行く前も、八代駅に集合して全員学生服で移動して、藤崎台で着替え、試合が終わったらまた電車で帰るという感じでした。秋山に関しては、もっと野球をしたかったのかもしれませんが、私も勉強しろとせかして、本人の野球に対する熱がくすぶっていたからプロに行つて成功したのだと思います。熊工など野球にとつぶりつかれる環境だったらプロの実績はなかったのではないかと思います。八高生はみんなそうですが、彼は素直でしたし謙虚でした。野球に関して言えば、彼が集大成だったように思います。

岡山 八高生は電車で移動したこのことでしたが、熊工はみんなバスで移動したと聞いています。

豊田裕司さん



工木 藤崎台の球場手前から用具を持ってみんなで坂道を登って行きました。もちろん熊工生はバスでそれを追い越して行くわけです。その辺も謙虚さだと思っています。そして、野球は野球、勉強は勉強と頭の切り替えがすぐに出来たのです。学校としてそういう教育体制だったのです。個人的には、負けたのは良かったと思っています。

本田 熊本市内の高校で、例えば済々黌だったら、試合が昼からでも朝から運動場で練習をして授業には出なくていい、または立派なバスを持っている。八高はそうではなかった訳です。秋山が3年生の時に私は英語の

授業を受け持っていました。とても真面目に授業を聞いていました。大学に進学するかもしれないという時期もあったので、英語の添削指導をしたこともあります。熊工との試合はよく覚えていて、9回2アウトまで勝っていたので、当時の教頭や教務主任がいよいよお金の心配をしないといけなと言っておりました。そして、あとストライク1つというところで秋山の投げた球がボールと判定されました。その後にはホームランを打たれた訳です。あの時の1球には、スタンドの方もストライクと言っていました。そこでストライクと判定されていけば、八高の校歌が聞けたと思うことや残り残念ではあります。

工木 あの時はずっとストライク1ボールというカウントだったもので、1球はずいとも良い状況でした。実は秋山は変化球が投げられず、ストレートをコースで勝負する投球をしていました。しかし、キャッチャーにサインをたくさん出させて首をふらせ、球種がたくさんあるように思わせるようなこともしていました。そして、例の1球はある塁審はストライクと言っていました。しかし、それも野球なのです。もし勝って甲子園に行ったとしても果たしてどうだったか

と思います。これからの野球部がその歴史を塗り替えることを期待していますし、楽しみです。

皆吉 決勝に行ってくれたおかげで、私たちは応援に行くことが出来ました。仲間十数人と仕事を早く切り上げ応援に行ったので、当時のことは鮮明に目に焼き付いています。

工木 最初にバスト4に入ったときも全校応援をしようという話がありましたが、私がそういうことはなくいいと断りました。そうすると、生徒たちは授業をサボってどんどん応援に行つたようです。春の九州大会のときもそうですが、同窓会やOB会から寄付を募ろうという動きがありました。一切お断りしました。夏のときも、今回はバスを使おうかという話もありましたがお断りしました。それでも、実際に勝ち続けた訳です。

熱血青春!! 楽しかった学園生活

1週間ぶつ通しの八高祭、1年生の3月に修学旅行、思い出は今でも続く!

司会 八高祭や修学旅行などについてお聞きします。当時の八高祭は1週間くらいありましたね。体育祭や文化祭、出し物な



築出富美さん

どその準備を含めると1ヶ月以上、特に3年生はその準備に追われていた気がします。八高祭の体育の部や文化の部で皆様の思い出話をお願いします。

西田 私は仮装の準備で、結構遅くまで先生たちの目を盗んで準備したり、自宅でもやっていた記憶があります。



田邊 私も衣装の準備Ｔシャツを3年生の先輩から教えてもらって布を染めるやり方などが勉強になった思い出があります。また、1年生から3年生と縦割りの中で先輩たちから可愛がってもらって、高校生やってたなという楽しかった思い出があります。

楠本 体育祭といえは仮装行列それと応援団ですね。当日の1週間だけでなくその前からの準備は今思えば本当に楽しかったですね。最後の日にみなでフォークダンスをやったのがよい思い出になっています。

築出 応援団の衣装をまず体育の先生に見せるんですね。こういう衣装を着ますということ。実際に作ってみると先生たちから少し色っぽすぎるとか短すぎるとか言われていたのを覚えています。

豊田 高校3年間で一番思い出するのは3年の時です。受験

西田晴美さん



前にも関わらず、文化祭の仮装で長崎の龍踊りを模して造りものを作成しました。作った後で持ち上げられないほど重いことに気づきました(笑)卒業アルバムを見てみたら、田代先生がタコ焼きをステテコ姿で売り歩いている姿を見つけて、懐しく思い出しました。

皆吉 3年間自治会に所属して、1年の時に八高祭に触れることで上級生から色々な知恵を授かったなあと思います。同時代に、3無主義(無気力、無関心、無責任)というのがあって、それを無くしていこうという取り組みとしても、八高祭は役立ちました。体育祭では、団ごとに応援、仮装、横断幕、いろいろな役割分担の中に1年生～3年生に先生までいて、役割分担できていた。八高は文化祭と体育祭が一緒にあって、他の高校に無いものとして記憶に

残っています。

特にファイヤーストームが一番の思い出です。文化祭や体育祭で作り上げたものをグラウンドで集めて、燃やして、その周りをフォークダンスして、それで一区切りつけるというものでした。

司会 修学旅行の話はどうでしょう？

築出 1年生の時でしたからね。

川崎 1年生の時だから、それで友だちができるというのもあったですね。

田邊 3月1日だったですね。3年生が卒業式、1年生は旅行でした。



— 親房さん



福田 本当は列車で行く予定のところ、ストがあつて、バスで北九州まで行き、大阪まではフェリーでした。

本田 八高生がとても大人だなーと思ったことがありました。京都の修学旅行で、先生が酔って帰ってきた。生徒がその先生に寄って行って、肩を貸していました。本当なら問題になって

いたのかも知れませんが、生徒が他言しないから問題にもならなかったし、生徒が大人だなという印象を持ちました。

岡田 3月1日に修学旅行に行くのは、卒業生の保護者が来られると、体育館がいっぱいになり、1年生は体育館に入れないので。引率の先生は卒業生を送り出したいという気持ちはありましたよね。

森 修学旅行の時に、引率しながら数学の問題を解いている先生もおられました。「先生、楽

しいですか？」と聞きましたよ(笑)。ある生徒が背広を着て外出したのでビックリしましたね(笑)。

司会 生徒自治会の活動はどうでしたか。

皆吉 私が1年生の時には制帽の自由化というのがあって、3年生が活動していましたね。先生も生徒の気持ちを理解して、応援してくださいました。

岡田 長髪解禁問題が起きた時に、つぎは制帽の解禁が話に上がるという声は職員会議の中でもあっていましたね。

司会 4月にクラス替えがあつて、クラス単位で、春はハイキングとか、夏休みキャンプとかありましたね。そういう時、カップルが誕生しましたか？

福田 皆自由でしたな。誰と誰が付き合っているとか結構オープンで、みんなそれを応援する

福田智親さん



感じていたね。結果、28回生は20組くらい結婚しています。

築出 デートは駅前のミツコとかでしていましたね。

福田 キャンプは1年生〜3年生までしました。3年生の時には早い時期から声を掛けて、45名中42名参加でした。それくらいまとまっていた。

鹿児島島の奥十曾に行きました。先生は車で、みんなは列車で行きました。

森 八高は、よく奥十曾に行っていたね。

田邊 先生方が一緒によく付き合ってくださったと思います。クラスでまとまっていたので、すごく思い出に残っています。

もし、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のように、八高時代に戻れたら？

司会 卒業生にお聞きします。もし高校時代に戻れるとしたら、何を一番したいですか？

築出 もう少し勉強すれば良かったかなと思います。

川崎 過去に戻っても、きっと勉強せんよ（笑）

田邊 試験の夢を今でも見たりします。もう少し勉強すればよかったかなという思いはあります。

福田 もっと友だちを作りたいですね。楽しかったですよ。娘たちとも八高の話します。今でも同級生でよく集まるので、娘たちには「いつも集まってよく話すことがあるね〜」と言われます（笑）

楠本 私勉強というのはありますけど、おかげで友だちはたくさんできました。3年生時の友だちで、八代にいる友だちとは、今でも2か月に1回会います。それは一番の宝物ですね。

皆吉 皆さんにつられて、私も勉強・と言わんばんですね（笑）。今でも毎月同級生と集まっていますので、53歳の時に全体同窓会の幹事学年をやってから身近なメンバーで集まっていますね。

西田 今フエイスブックを通して、色々な学年の方が参加して、山ハイクを1か月に1回やっています。八高のつながりのおかげと思って感謝しています。また、先生方の愛情を受けながら和やかな3年間を送れたと感謝しています。

豊田 本音言つと、戻りたくはないですね（笑）振り返れば、勉強も遊びも中途半端だったので、もっと遊び倒したかったと思います。

司会 最後に先生方から八高の同窓生へ一言お願いします。

本田 八高に9年間いましたけど、八高生が非常に好きですね。済々黌の生徒とも氣質が似ていると思います。私の長男も八高を卒業して、1年浪人しましたが、クラスの友達がいっぱい参考書を持ってきてくれました。みんなが大学に落ち着くまでは2年くらいクラス会も控えようということでした。共通一次が始まったところに、テレビの取材が来ていて、みんな、テレビカメラを避けていく中で、熊大の受験会場で、男子の生徒が5、6人取材を受けていた。「試験はあまり難しくなかった」とか、「放送はいつあるんですか？」とか話していたのが印象的でした。



大会の準備の時でも、生徒の誰かが前もって「先生今日は何時ごろに見回りに来られますか？」と聞いて、先生が午後9時ごろに行くと言えると、9時には明かりを消してくれて、先生が帰った。また作業を続けるということがあった。先生もそれを分かっていたながら、黙認していた。そういう大人同士のやり取りがありました。何でも大人が先に指摘して、子どもが扱うより、大人として扱った方が八高生には良いのかなと思います。

森 熊本地震では益城で被災した時にも、ずっと疎遠にしていた生徒が集まってきた。人が苦しいときに集まって助けてくれるところは、八高生の良いところだと思います。欲を言えども少し文化面が欲しい。活躍している映画監督や俳優、そういう部分をみんなで応援して欲しい。つねに何かを探索して欲しいですね。

岡田 八高に入学した時に印象深かったのは、先生が生徒を大人扱いしてくださるということ。八高に入ったときに、さんづけで呼んでくれて、高校生としての自律を自覚しました。自分子どもが同じ歳になった頃には、だんだん高校生が幼くなつたように感じました。昔は体育

工木 29歳から44歳まで15年間八高に教員としていましたが、素晴らしい生徒、保護者、同僚の方に恵まれて、八高にはとても感謝しています。生徒は7千人〜8千人教える子はいらっしゃいますが、すごい人材が沢山います。秋山くらいの素質の生徒がたくさんいました。すばらしい素質を持った生徒が今もたくさんいると思います。勉強だけでも、運動だけでもなく、両方できる器の大きい生徒に育ってほしい。私も陰ながら応援します。

司会 それでは八高座談会を閉めさせて頂きます。有難うございました。

岡田俊子先生



平成28年度 八代高校同窓会会計決算書

収入の部	6,105,021円
支出の部	7,304,819円
前年度繰越金	21,738,379円
次年度繰越金	20,538,581円

年会費振込者総数 2,184人 4926千円

平成29年度 八代高校同窓会会計予算

収入の部	6,050,000円
支出の部	8,220,000円
前年度繰越金	20,538,581円
次年度繰越金	18,368,581円

年会費2,000円のご協力をお願いします

「三綱領」の銅板レリーフを寄贈

八高創立120周年の年の12月1日、妙見宮に神馬奉納を希望する団体が集まり、抽選の結果、八高同窓会飾馬奉納会が選ばれたという栄誉を受けました。多くの同窓生のご支援を頂き、昨年、神馬奉納を無事終えることができましたので、そのご支援に対して感謝の意を込めて、八代高校にこの「三綱領」の銅板レリーフを寄贈させていただきました。

八代高校同窓会飾馬奉納会
会長 山崎宏治



左：山本朝昭 校長
右：瀧田義昭
前奉納会会長

「古希」を祝して「英語版三綱領」を寄贈

昭和40年卒(第17回)の同窓生122名が昨年10月22日「古希」を祝って全国から八代に集まりました。八代高校も1週間後に創立120周年記念式典が開催されることになっており、私たちにとっては二重の慶事でありました。

その喜びを形あるものにしようと幹事一同で話し合い、山本朝昭校長が英語に翻訳された八代高校の三綱領を額に入れて残すことにしました。学校長の自筆による英字を彫り込むこともでき、すばらしいカリグラフィーが完成しました。格調高い英文で表現された三綱領の堂々たるフレームに感動しています。

第17回生代表 柴田周一



◆各支部・地区同窓会連絡先のご案内

■八代高校関東地区同窓会

会長：勝井 梅子(高21回) 事務局：後本 一幹(高21回)
事務局所在地 〒103-0004 中央区東日本橋1丁目6番10号K・Kビル5階
中村会計事務所 中村静雄(高19回)方 TEL03-3864-6951 FAX03-3864-6957
定例総会：毎年9月の土曜日東京都内の会場で開催

■八代高校東海同窓会

会長：坂田 孝之(高18回) 事務局：岩崎 健作(高23回)
事務局所在地 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24ライオンズビル29号内705 岩崎健作(高23回)方
TEL052-204-1945 FAX052-204-1943

■八高関西同窓会

会長：宮崎 正郎(高14回) 事務局：新村 守(高49回)
事務局所在地 〒530-0047 大阪市北区西天満5-16-15エフワンビル4階 新村守(高49回)方
TEL06-6316-8364 FAX06-6316-8368
定例総会：毎年6月の第1土曜日、大阪市内の会場で開催

■八代高校岡山同窓会

会長：吉田 高範(高18回) 事務局：江村 清二(高20回)
事務局所在地 〒703-8262 岡山市中区福泊11-118 江村清二(高20回)方
TEL086-276-8050

■八代高校広島県同窓会

会長：片山 茂光(高19回) 事務局：村田 栄治(高28回)
事務局所在地 〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田栄治(高28回)方
TEL0829-58-5455

■八代高校山口県同窓会

会長：山下 鐵洋(高14回) 事務局：中村 裕子(高21回)
事務局所在地 〒755-0151 宇部市西岐波村松402 中村裕子(高21回)方
TEL0836-51-1046

■八代高校同窓会福岡支部

会長：辻本 章(高18回) 事務局：磯部 和之(高23回)
事務局所在地 〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80 磯部和之(高23回)方
TEL092-565-2232
定例総会：毎年7月第1土曜日、博多祇園山笠にあわせて福岡市内の会場で開催

■八代高校同窓会熊本市支部

会長：中西 雄一(高20回) 事務局：坂田 雅孝(高24回)
事務局所在地 〒861-4172 熊本市南区御幸笹田4-11-5 坂田雅孝(高24回)方
TEL096-379-0852
定例総会：隔年10月の土曜日熊本市内の会場で開催

■八代高校大分同窓会

会長：田河 清一(高13回) 事務局：松本 宏次(高15回)
事務局所在地 〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40 松本宏次(高15回)方
TEL097-549-3386

■八代高校鹿児島県同窓会

会長：福山 成美(高10回) 会長事務局兼任
事務局所在地 〒891-0144 鹿児島市下福元町7480-5 福山成美(高10回)方
TEL099-261-7739

■八代高校長崎地区同窓会

事務局：徳永 哲郎(高27回)
事務局所在地 〒852-8135 長崎市千歳町4-7-301 徳永哲郎(高27回)方
TEL095-844-6106

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学歴等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含まれます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

- 八代高等学校同窓会では個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
- (1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
 - (2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
 - (3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態で保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供(「5. 第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます)などの無いうに、適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。

ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせて、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をさせていただきますようお願いいたします。

平成24年8月25日
熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局 (八代高等学校内)

TEL0965-33-4138 FAX0965-35-8463

事務局直通 080-2743-9712

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com



委員長 一 親房(高28回卒)

今回、広報委員長を拝命いたしました。重責に気が引き締まる思いです。前回まで座談会を担当していましたが、先輩方は必ず、「八高生は仲が良い。その関係は卒業後もずーっと続いている。」とお話になります。このことをコンセプトに同窓会報を作っていこうと考えています。全国各地の八高同窓会支部や各学年の活動を紹介しながら、八高同窓生の仲の良さを伝えていきます。新企画として、様々な分野でご活躍されておられる会員各位の人物やお仕事ぶりなどにスポットを当て、数多く紹介していこうと考えています。

委員 岡村 洋文(高25回卒)

「もし、八高時代に戻れたら」と座談会の問いにありました。自分は、同じように過ごし卒業、35年経ち広報誌「道」の編集メンバーになり、その10年後、第9号の編集後記にコメントを書いている姿が見えます！
…秋竜山のマンガみたい。

委員 柴崎 政俊(高36回卒)

広報委員も今年で3年目。はじめて座談会の場に同席をさせて頂きました。先輩方が青春時代について熱く語られているのを聞いて、自分はどうだったかなと振り返りましたが、あまり記憶が…。今年もどうか最後までお読み下さい。

委員 松永 正大(高46回卒)

広報委員2年目を迎えました。今年は八高野球部の夏準決勝の応援にも八高の法被を着て応援させてもらいました。来年の夏は決勝そして甲子園で同じように応援し、その記事を書きたいですね。

委員 成尾 善明(高49回卒)

広報委員として、八高座談会に今回初めて参加しました。先輩方とその恩師の方々のお話はとてもおもしろく、あっという間の2時間でした。また、今年の夏は、野球部の熊本大会ベスト4進出で楽しませてもらいました。

委員 高見 聡一郎(高55回卒)

今回は座談会の編集に携わせて頂きましたが、先輩方の思い出話に、懐旧の情にかられました。勉強そっこのけで、部活に友人関係(?)に謳歌した青春時代。なんだか急に友の顔が見たくなりました。

本校同窓生をねらったオレオレ詐欺が発生しています。30～40代の男子卒業生の実家に電話がかかっているようです。男子同窓生の方は特に御注意をお願いします。

「平成30年度八代中学・八代高女・八代高校同窓会総会」

平成30年8月25日(土) 午後12時30分受付開始

総会 13時30分から

懇親会 17時から

会場 八代ホワイトパレス

本年度の大同窓会は、高36回生が担当します。多くの皆さんの御参加をお待ちしております。

〈学年同窓会のご案内〉

八高23回卒 同窓会

日程：平成30年3月17日(土)

会場：セレクトロイヤル八代

問合せ先：山川敏光 090-1925-2394

【住所変更時の連絡のお願い】

住所を変更されましたら、事務局までご連絡下さい。

連絡先 〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463
事務局直通 080-2743-9712

メールアドレス

85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます。

ホームページアドレス

<http://www.hachiko-dosokai.com/index.htm>

部活動OB会の活動状況や総会の日時等の紹介を同窓会のホームページでできます。
上記、同窓会事務局宛にメールで御連絡下さい。

平成29年度同窓会行事予定 (H29.4.1～H30.3.31)

平成29年(2017)

4月15日(土)	東海同窓会総会	「名古屋クラウンホテル」にて
4月22日(土)	臨時理事会 役員選考委員会	29年度同窓会役員体制について
5月12日(金)	第1回正副会長会	平成29年度行事、役員体制について
6月 2日(金)	第2回正副会長会	理事会議案について
6月 3日(土)	関西同窓会総会	「太閤園」にて
6月 4日(日)	岡山同窓会総会	「ビュアリティまきび」にて
6月10日(土)	会計監査	
6月24日(土)	八代高校教育振興基金運営委員会 理事会	教育助成等審議 総会議案審議(予算案を含む)
7月 1日(土)	福岡支部総会	「八仙閣」本店にて
8月 4日(金)	第3回正副会長会	同窓会総会運営について
8月26日(土)	同窓会総会	「八代ホワイトパレス」高35回担当
9月 2日(土)	関東地区同窓会総会	「上野精養軒」にて
9月 2日(土)	広島県同窓会総会	「ホテルセンチュリー21広島」にて
9月29日(金)	第4回正副会長会	同窓会報について
10月21日(土)	大分同窓会総会	
11月15日(金)	同窓会報「道」第9号発行	
11月18日(土)	鹿児島県同窓会総会	
11月23日(木)	妙見宮大祭花馬奉納	
12月 1日(金)	第5回正副会長会	
12月 3日(日)	山口県同窓会総会	

平成30年(2018)

2月	長崎県同窓会総会	
2月 9日(金)	第6回正副会長会	同窓会入会式について
2月28日(水)	同窓会入会式	平成29年度卒業生(高70回)